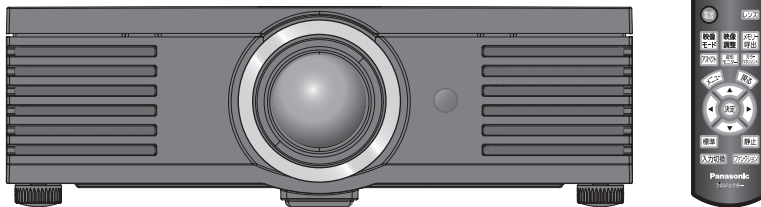
Panasonic®

取扱説明書

液晶プロジェクター

品番　TH-AE3000

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（4～8ページ）を必ずお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBH0202-1

もくじ

■投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞14 ページ)

2. 本機と外部機器を接続する
(☞18 ページ)

3. 電源コードを接続する
(☞19 ページ)

4. 電源を入れる
(☞21 ページ)

5. 投写する映像を選択する
(☞22 ページ)

6. 映り具合を調整する
(☞22 ページ)

もくじ（つづき）

調整と設定

点検とお手入れ

その他

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

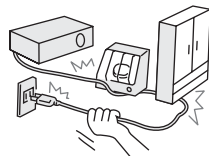
■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

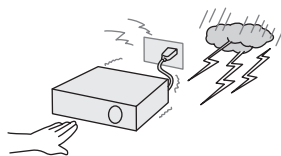
■ **お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。（下記は絵表示の一例です。）**

	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

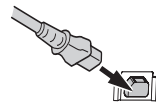
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

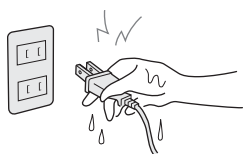
■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

■ 付属の電源コード以外は使用しない

感電の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音がでたとき

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。

- 販売店にご依頼ください。

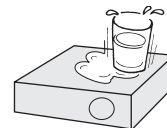
■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ コンセントを本機の近くに取り付ける

異常のまま使うと、火災・感電の原因となります。

- 異常の際に電源プラグをすぐに抜けるようにしてください。

■ 水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

- 機器の上に、水などの液体の入った容器を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ 異物を入れない

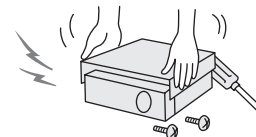
ショートにより火災・感電の原因となります。

- 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ 使用中は投写レンズをのぞかない

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと、目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ 分解したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

警告

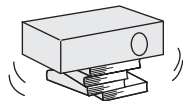
■天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する

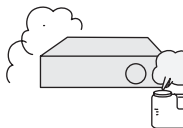
工事の不備があると事故の原因となります。

■当社で指定した天つり金具を使用する

天つり金具に不備があると、事故の原因になります。

- 付属のワイヤーで落下防止の処理を行ってください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下する恐れがあります。

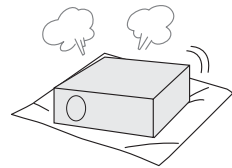
■カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■排気孔には手や物を近づけない

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置いたりするとやけどや変形の原因となります。

- 排気孔の前方 50 cm 以内には物を置かないでください。

■放熱を妨げない

内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

- 布や紙などの上に置かないでください。
  吸気孔に吸着する場合があります。
- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

■電池は誤った使い方をしない

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- ＋と－を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- ＋と－を逆に入れない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。
  電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。
- アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しないでください。

⚠警告

■電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

■使い切った電池は、すぐにリモコンから出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

■ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜かないで交換作業を行うと、感電や破裂の原因となります。

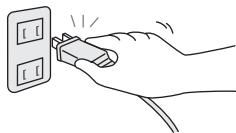
■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待って）行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ランプユニットを分解しない

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

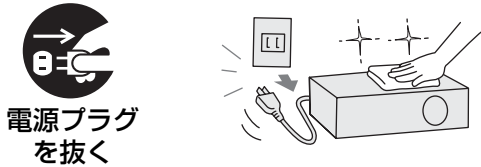
⚠注意

■電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。なお、本体の主電源「入」状態で、リモコンで電源「切」にした場合、約 0.08W の電力を消費しています。

⚠注意

■お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、必ず接続線を外す

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。また、本機の破損や、変形の原因になることがあります。

■異常に温度が高くなるところに置かない

禁止

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、熱器具の近くでは特にご注意ください。

■古いランプユニットは使用しない

禁止

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を超えたランプユニットは使用しないでください。破裂する場合があります。

■ランプが破裂したときは、触ったり、顔を近づけたりしない

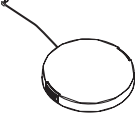
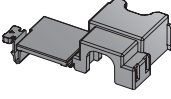
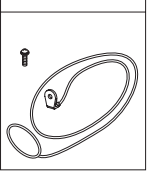
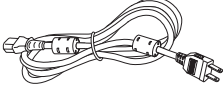
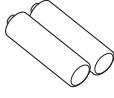
禁止

散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまったりする恐れがあります。

- 直ちに換気を行ってください。
- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■1 年に 1 度は内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

付属品の確認

下図の付属品が入っていることを確認してください。

<table>
<tr><td rowspan="2">リモコン:1 個
(N2QAYB000315)
</td><td>レンズカバー : 1 個
(TXFKK01VKF5)

(お買い上げ時は、製品本体に装着されています。)</td><td>電源コード抜け防止カバー
: 1 枚(TTRA0184)
</td><td rowspan="2">天つり用落下防止具
(TTRA0141)

ワイヤーロープ : 1 本
取り付けねじ : 1 本</td></tr>
<tr><td>電源コード(3 m):1 本
(K2CA2FH00002)
</td><td>リモコン用乾電池
:2 個 (単３形乾電池)
</td></tr>
</table>

お願い :

- 電源コードキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。

運搬上の留意点

■運搬中は必ずレンズカバーを取り付けてください

- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすいため、レンズに傷がつかないよう、運搬時は特にご注意ください。

■本機の底面を持ち運搬してください

- 伸ばしたアジャスター脚をつまんで持ち上げたり、天面パネルのみを持った状態で運搬したりしないでください。破損する恐れがあります。

設置に関する留意点

■以下の場所には設置しないでください

- 屋外に設置しないでください。
- 振動や衝撃が加わる場所 : 内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具(スタジオ用ランプなど)の近くなど、温度変化が激しい場所(使用環境条件 ☞59 ページ) : ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあり、熱により本体が変形し、故障の原因となることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く : 妨害を受ける場合があります。

■本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者にご依頼ください(☞54 ページ)

別売りの天つり金具が必要です。品番 : TY-PKE2000 (高天井用)、TY-PKE1000S(低天井用)

■海抜 1 400 m 以上でご使用の際は、「高地モード」を「オン」に設定してください(☞47 ページ)

「オン」に設定しないと部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。
また、故障の原因になる場合があります。

■本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください(☞14 ページ)

上下方向に± 30 度以上傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために
スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

■投写レンズは素手でさわらないでください
指紋や汚れがつくと、スクリーンに汚れが映ります。また本機を使用しないときはレンズカバーを取り付けてください。

■液晶パネルについて
本機には映像表示部品として3枚の液晶パネルを使用しています。液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

■光学部品について
毎日 6 時間以上連続使用する場合、1 年未満でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。また、ご使用になる環境温度が高い場合や、ホコリ、油煙、たばこなどの煙が多い環境下では、交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

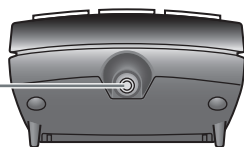
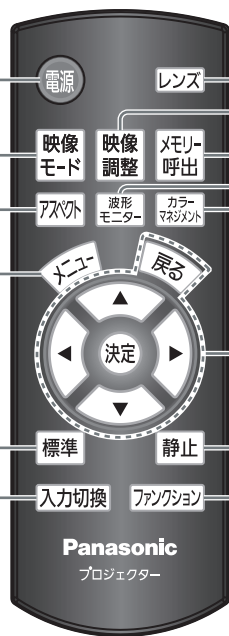
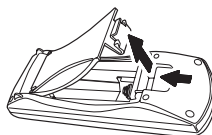
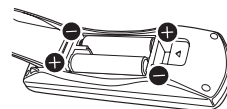
■ランプについて
本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。
- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音で破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 6 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「入」「切」の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。
  （「■ランプユニットの交換時期」☞50 ページ／「■ランプユニットの交換手順」☞51 ページ）
- 破裂すると内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。

■廃棄について
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注意
コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のインターフェースケーブルを使用してください。

各部の名称とはたらき

リモコン

お願い :

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンの電池には、種類の違うものや、新・旧を一緒にしないで、アルカリ乾電池またはマンガン乾電池をご使用ください。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

お知らせ :

- リモコンボタンを押すとボタン照明が点灯します。
  約５秒間操作をしなければ、ボタン照明が弱くなり、さらに約５秒間操作をしなければボタン照明は自動的に消灯します。
- リモコンを直接本体の前面のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 7 m 以内で操作してください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
  リモコンからの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲に制限がでる場合があります。

本体

■前面・天面・側面

レンズズシフトダイヤル・水平
（☞22 ページ）

レンズシフトダイヤル・垂直
（☞22 ページ）

排気孔

投写レンズ

温度モニター
（☞48 ページ）

ランプモニター
（☞48 ページ）

電源モニター
（☞20、21 ページ）

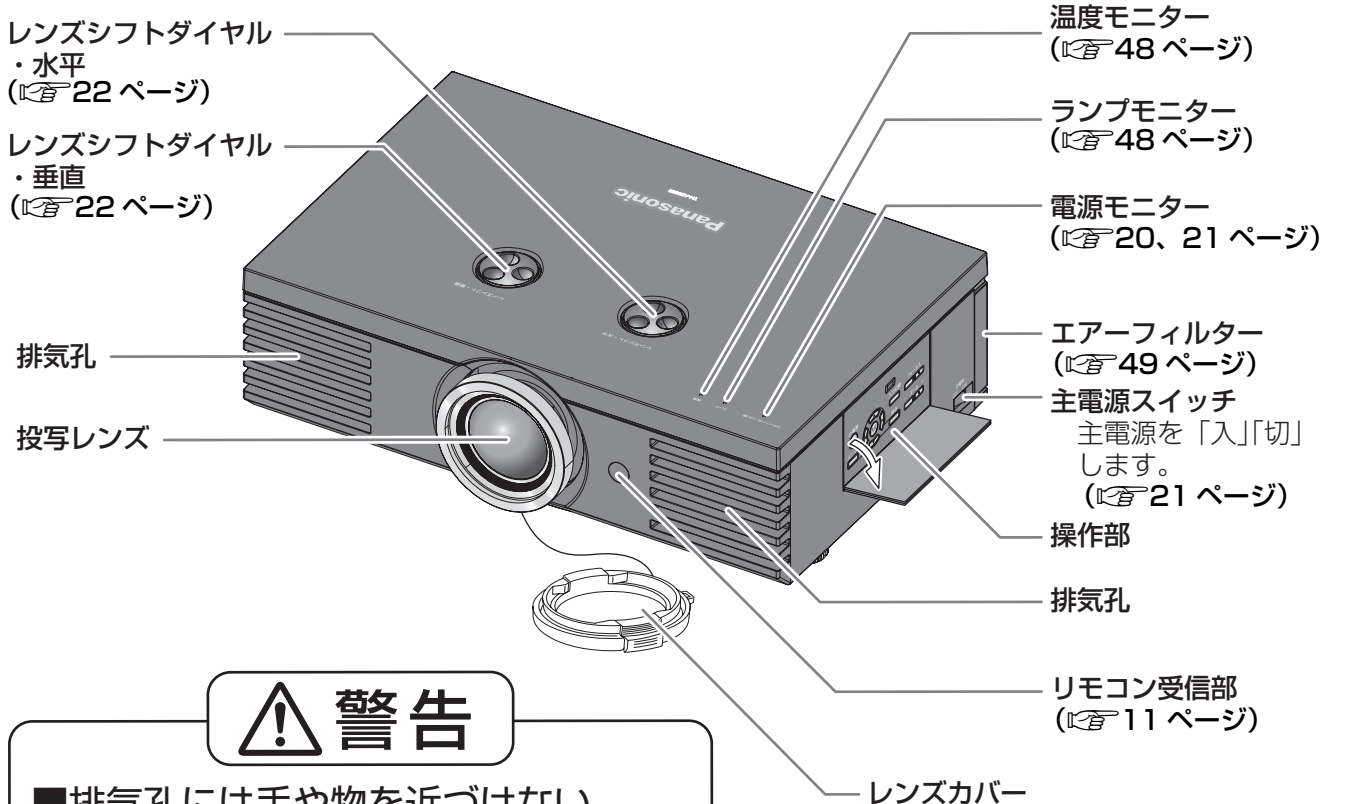
エアーフィルター
（☞49 ページ）

主電源スイッチ
主電源を「入」「切」します。
（☞21 ページ）

操作部

排気孔

リモコン受信部
（☞11 ページ）

レンズカバー
投写レンズ面にごみや汚れがつくのを保護します。
本機を使用しないときは、レンズカバーを取り付けてください。

⚠ 警告

■排気孔には手や物を近づけない

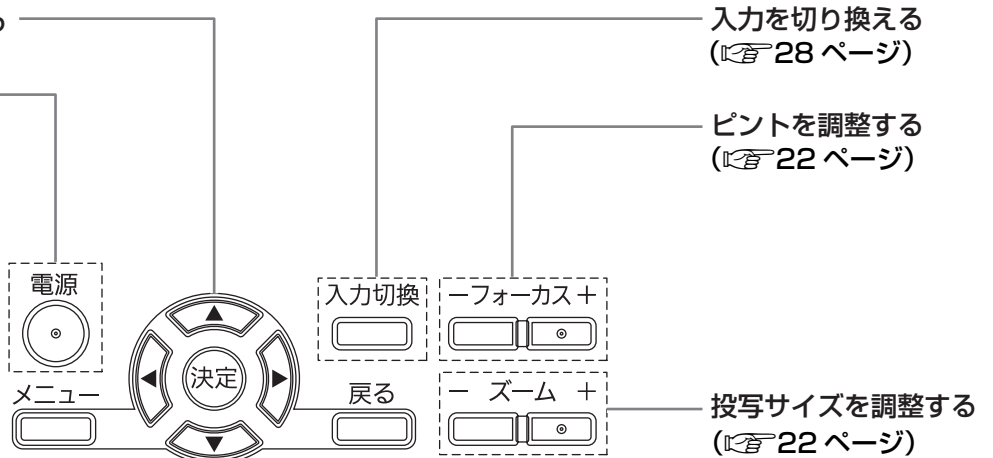
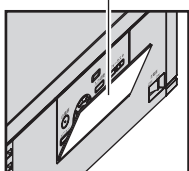
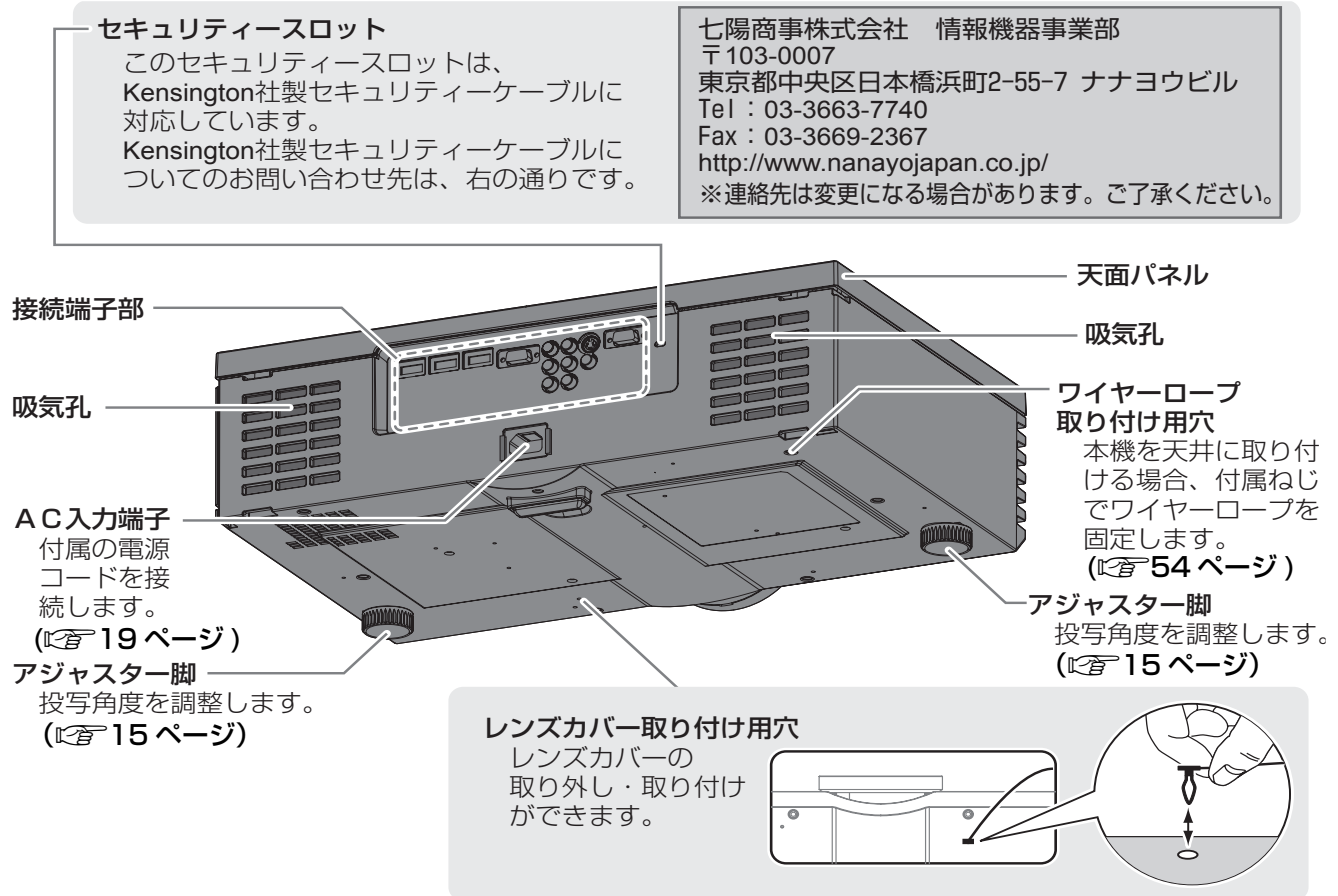
禁止

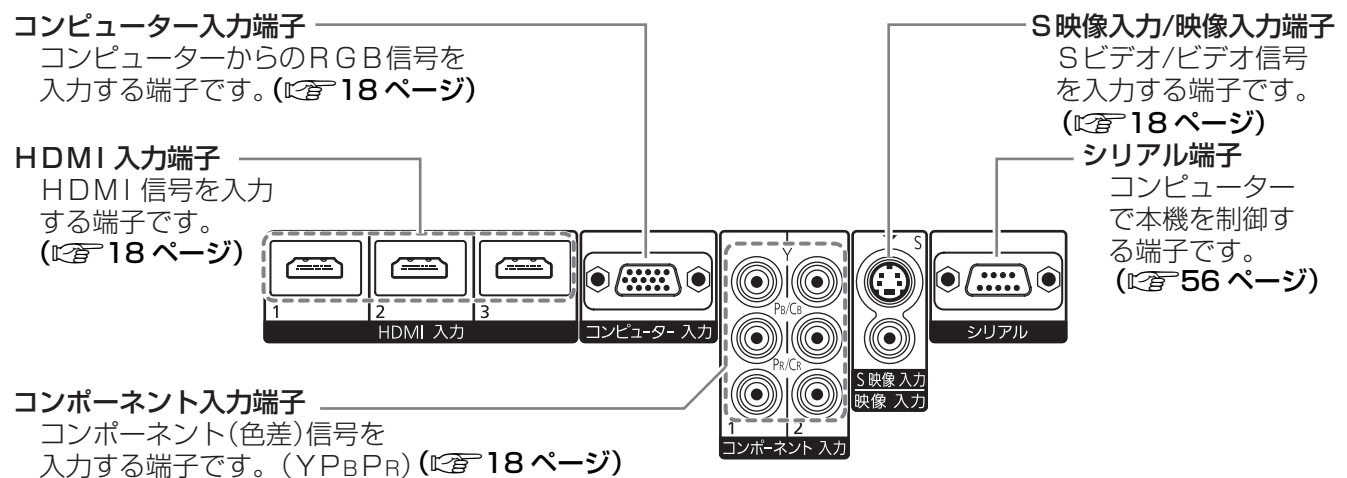
排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置いたりするとやけどや変形の原因となります。

●排気孔の前方50 ㎝以内には物を置かないでください。

お願い：

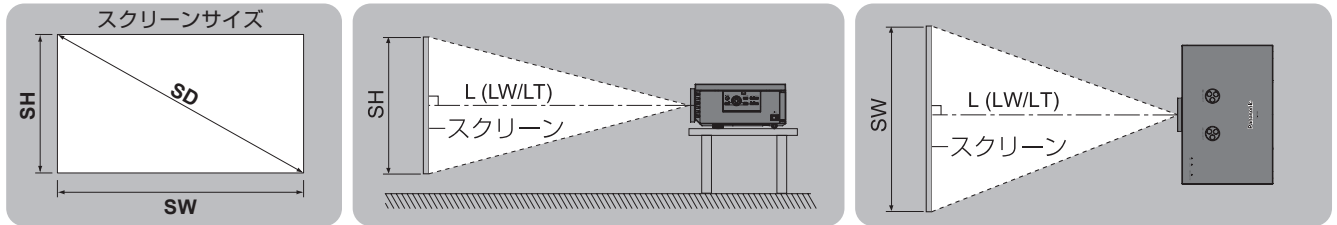
● 吸気孔および排気孔はふさがないようにしてください。

■操作部

■後面・底面

お願い：
- 付属品以外の電源コードは接続しないでください。
- 吸気孔および排気孔はふさがないようにしてください。
- 天面パネルはランプ交換以外は開けないようにしてください。

■接続端子部

設置する

スクリーンサイズと設置位置

本機は、2.0 倍ズームレンズの採用により、スクリーンサイズの調整ができます。使用するスクリーンサイズと投写距離を確認し設置位置を決定してください。

この図は 16：9 のイメージ図です

（下記の表の寸法は若干の誤差があります。）

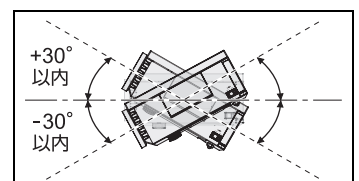
スクリーンサイズ	アスペクト 16：9 の場合		アスペクト 2.35:1 の場合 *1	
対角（SD）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）
40 型　(1.02 m)	1.2 m	2.3 m	1.3 m	–
50 型　(1.27 m)	1.5 m	2.9 m	1.6 m	2.3 m
60 型　(1.52 m)	1.8 m	3.5 m	1.9 m	2.8 m
70 型　(1.78 m)	2.1 m	4.1 m	2.2 m	3.3 m
80 型　(2.03 m)	2.4 m	4.7 m	2.6 m	3.8 m
90 型　(2.29 m)	2.7 m	5.3 m	2.9 m	4.2 m
100 型　(2.54 m)	3.0 m	5.9 m	3.2 m	4.7 m
120 型　(3.05 m)	3.6 m	7.2 m	3.8 m	5.7 m
150 型　(3.81 m)	4.5 m	9.0 m	4.8 m	7.1 m
200 型　(5.08 m)	6.0 m	12.0 m	6.4 m	9.6 m

*1：スクリーンサイズ 2.35：1 を使用して、アスペクト 2.35：1 と 16：9 を切り換えて使用する場合にお使いください。

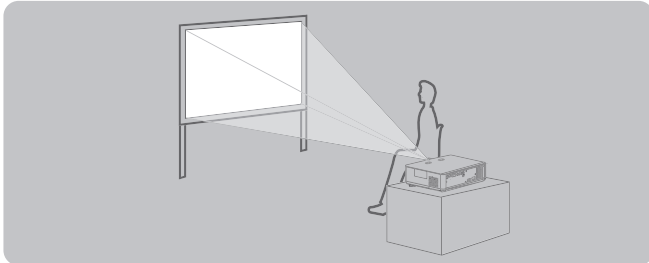
上記の表以外の投写寸法を、スクリーンサイズ SD（m）より下記の計算式で求めることができます。
式の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）
スクリーンサイズを SD とすると、

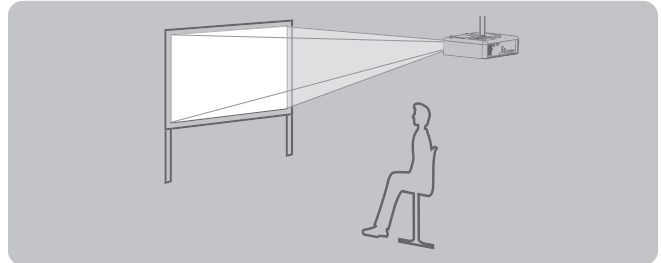
	スクリーンサイズ 16：9 の場合	スクリーンサイズ 2.35：1 の場合
スクリーンサイズ 高さ（SH）	= SD × 0.490	= SD × 0.392
スクリーンサイズ 幅（SW）	= SD × 0.872	= SD × 0.920
最短投写距離（LW）	= 1.189 × SD - 0.04	= 1.256 × SD - 0.04
最長投写距離（LT）	= 2.378 × SD - 0.05	= 1.899 × SD - 0.05

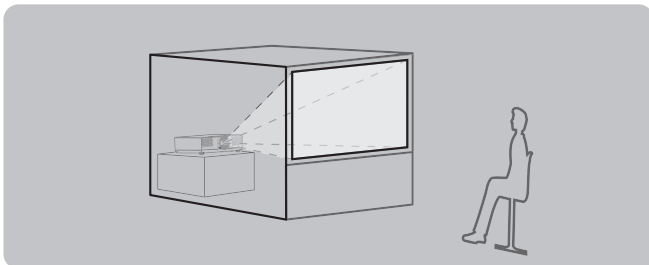
お願い：

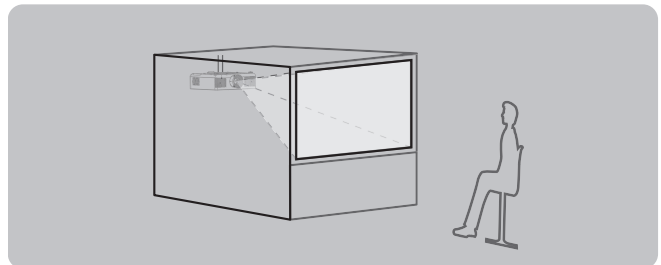
- 美しい映像をご覧いただくためには、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください。故障の原因となります。
  本機を傾けて設置する場合は、上下方向に± 30 度以内にしてください。
  本機を上下方向に± 30 度以上傾けた状態で使用されると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

投写方式

本機は、４通りの投写方式が選択できます。設置場所に応じた投写方式を選択してください。
投写方式の設定は「その他の設定」メニューの「設置方法」をご覧ください。（☞47 ページ）

■床置きで前方に投写する場合

メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 床置き

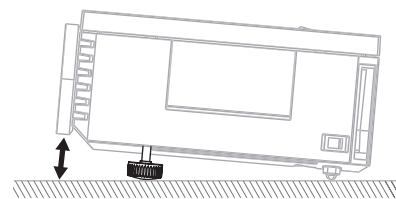
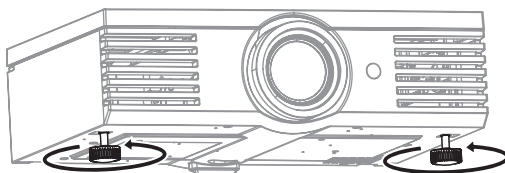
■天つり設置で前方に投写する場合

メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 天つり

■床置きで後方から投写する場合（透過式スクリーン使用）

メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 床置き

■天つり設置で後方から投写する場合（透過式スクリーン使用）

メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 天つり

お知らせ：
● 天つり設置には、別売りの天つり金具が必要です。
品番：TY-PKE2000（高天井用）、TY-PKE1000S（低天井用）

アジャスター脚による投写角度調整

アジャスター脚を図のように回すことで、上方向に投写角度を調整できます。また逆に回すことで、下方向に投写角度を調整できます。

お願い：
● 排気孔からは熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。
● 台形ひずみが発生している場合は、「画面位置の調整」メニューの「台形補正」を行ってください。
（☞41 ページ）

お知らせ：
● アジャスター脚を締め付け方向に回してカチッと音がしたら、脚は締め付けが完了します。

準備

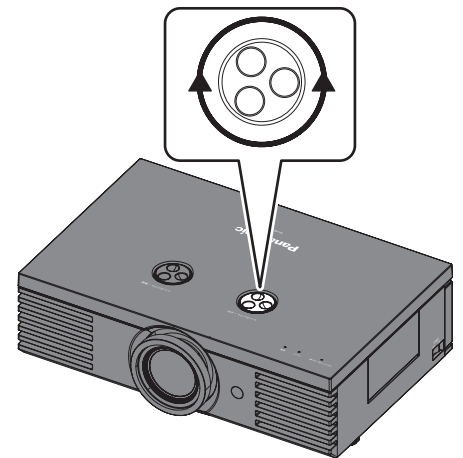
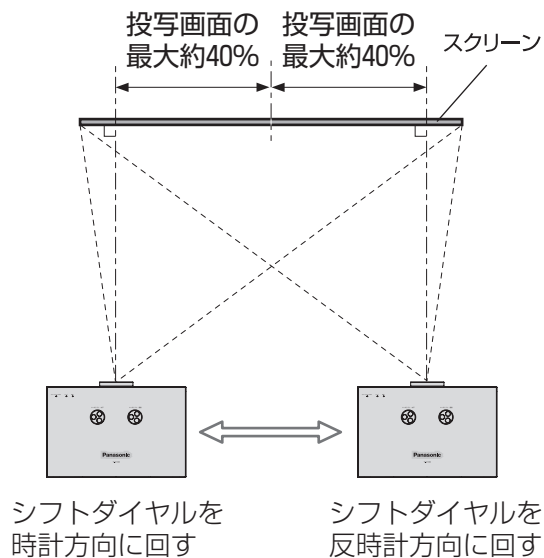
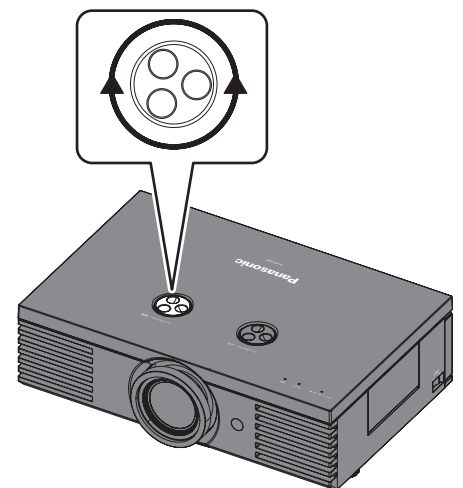
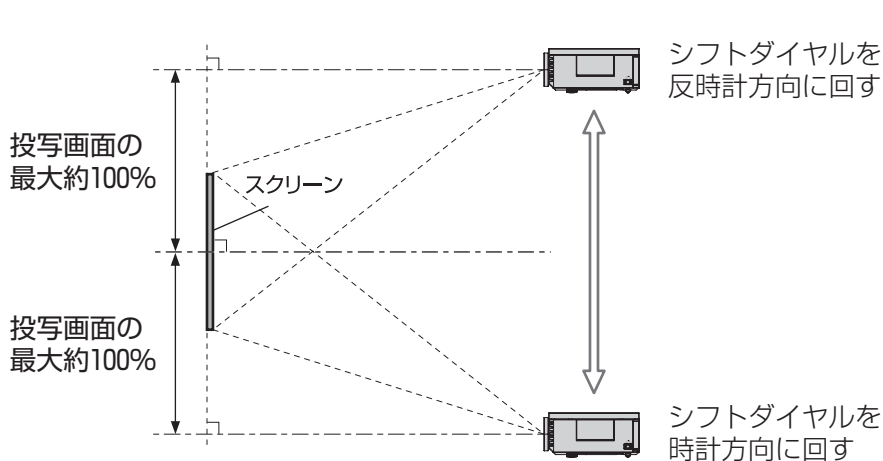
レンズシフト機能による設置位置変更

本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。

■レンズシフトの調整方法

レンズシフトダイヤルを動かし調整する

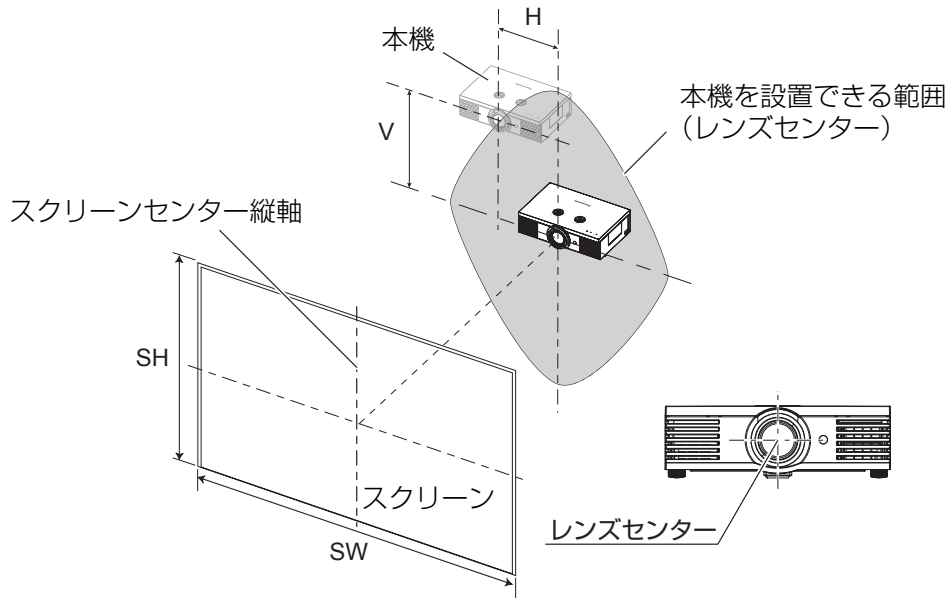
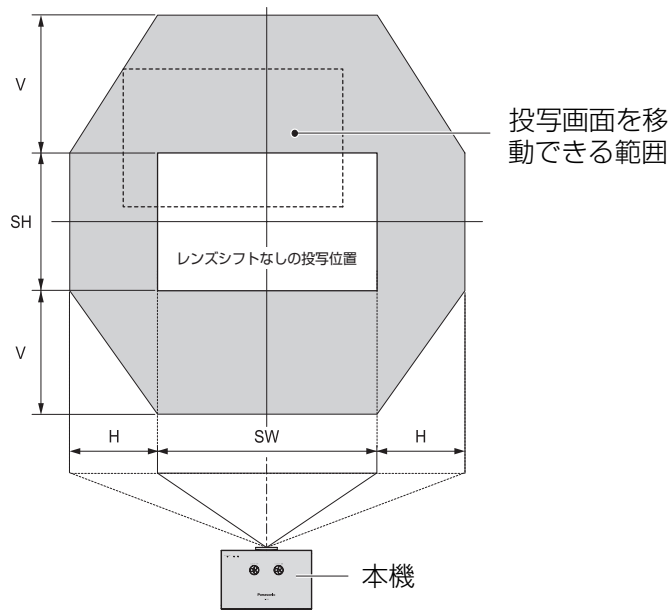
2 つのレンズシフトダイヤルを使って投写位置を調整します。
（下図は床置きで前面に投写している場合の例）
レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がする位置がほぼレンズ位置の中央となります。
レンズシフトは、左右方向に最大約 40 %、上下方向に最大約 100 %シフトすることができます。

●水平位置を変更する
スクリーンと本機の設置位置に合わせて、レンズシフトダイヤル・水平を回し、調整してください。

●垂直位置を変更する
スクリーンと本機の設置位置に合わせて、レンズシフトダイヤル・垂直を回し、調整してください。

お願い :

- レンズシフトダイヤルは回し過ぎないでください。無理に回すと故障の原因となります。
  回転の目安はレンズ位置の中央から時計回り・反時計回りともに約4～５回転です。

■レンズシフト機能による調整範囲

下記の範囲で設置位置を調整できます。
投写画面の高さ（SH）、幅（SW）の調整については、「スクリーンサイズと設置位置」をご覧ください。
（☞14 ページ）

●スクリーンを基準としたときの、本機を設置できる範囲

●本体を基準としたときの、投写画面を移動できる範囲

シフト方向	調整できる最大範囲
水平方向（H）	投写画面幅（SW）の左右 約 40 %
垂直方向（V）	投写画面高さ（SH）の 上下約 100 %

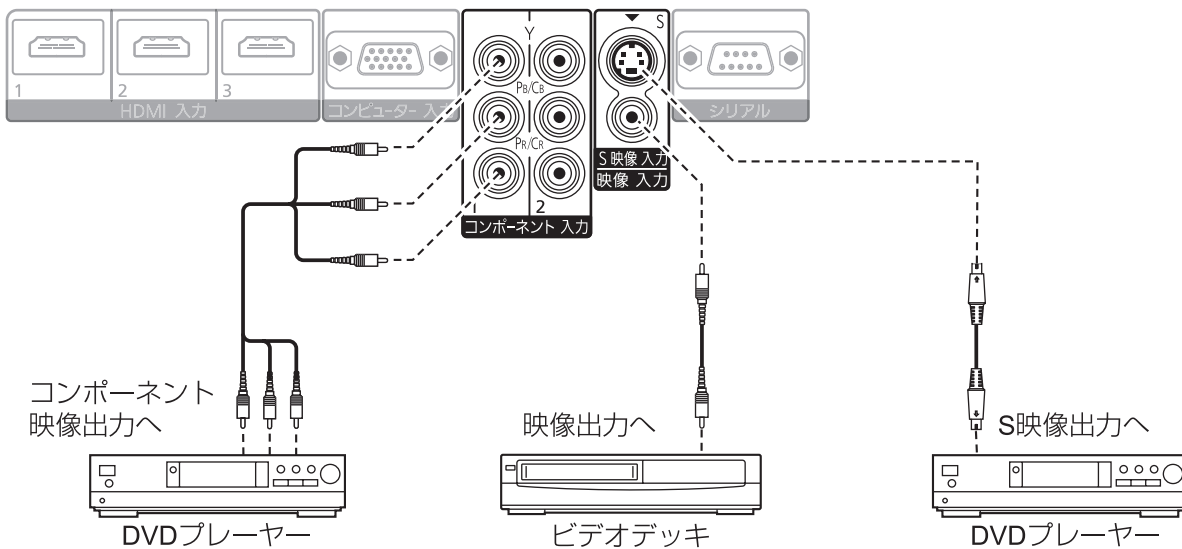
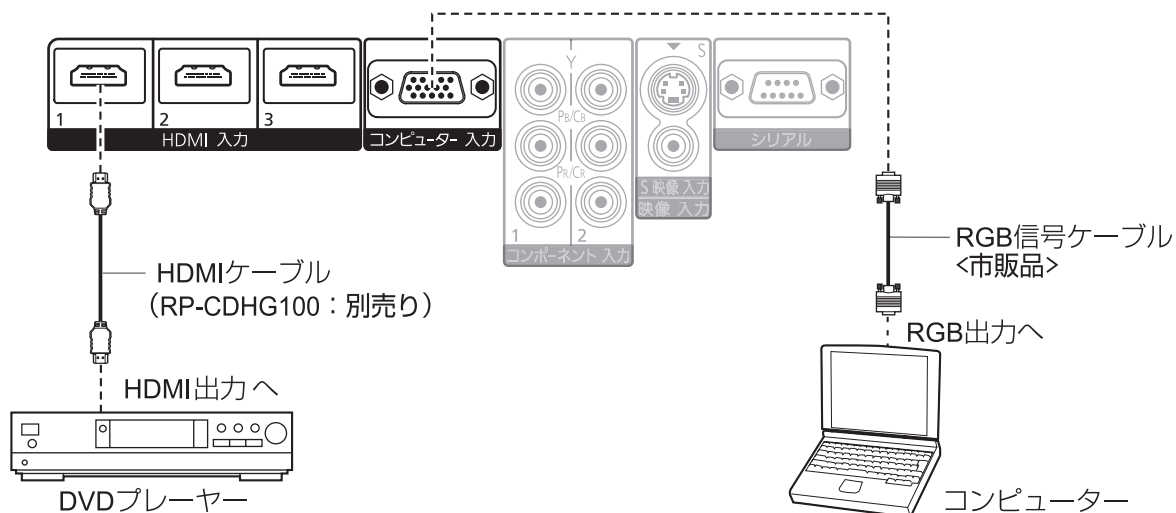
お知らせ :

- レンズシフトダイヤル · 水平を最大にレンズシフトしたときは、レンズシフトダイヤル · 垂直は最大までレンズシフトすることはできません。同様に、レンズシフトダイヤル · 垂直を最大にレンズシフトしたときは、レンズシフトダイヤル · 水平は最大までレンズシフトすることはできません。
- 本機を前または後ろに傾け、台形補正を使用して設置するときは、レンズセンターとスクリーンセンター縦軸を合わせてください。

接続する

接続の前に

● 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
● 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
● 接続に必要なケーブルは、接続する機器に合わせて準備してください。
● 本機と接続できる映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。（☞55 ページ）
● 音声入力端子はありませんので、接続される機器の音声はオーディオ機器などに接続してください。

映像入力端子 /S 映像入力端子 / コンポーネント入力端子の接続（例）

HDMI 入力端子 / コンピューター入力端子の接続（例）

お知らせ :
● HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合していることを確認してご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用したときには、映像が途切れる・映らないなど正常に動作しない場合があります。
また、HDMI の 1080p 信号を接続するときは、1080p 信号に対応したケーブルを使用してください。
● 本機は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
● シリアル端子に接続する場合は、「シリアル端子について」をご覧ください。（☞56 ページ）

電源を入れる / 切る

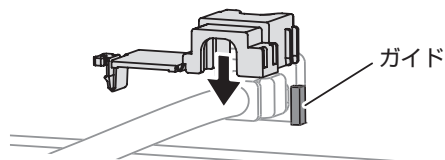
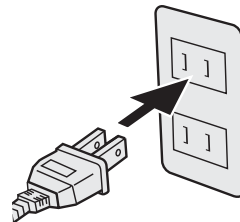
電源コードの接続

電源コードの抜けを防止するため、付属の「電源コード抜け防止カバー」で電源コードと本体を必ず固定してください。
付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。
詳しい取り扱いについては「安全上のご注意」をご覧ください。(☞4 ～ 8 ページ)

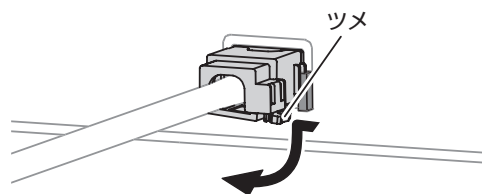
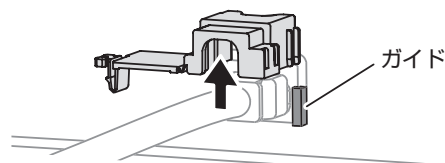
■取り付け方

(1) 本機後面の AC 入力端子（AC IN ～）と電源コードのコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む

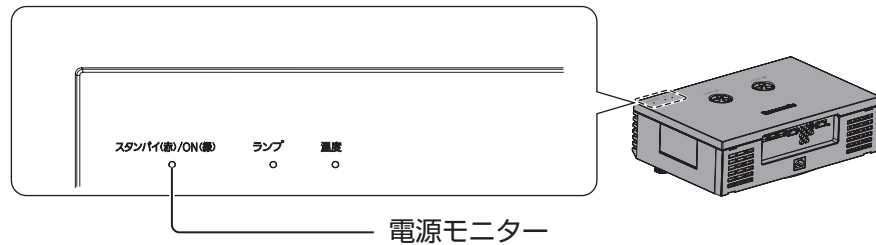
(2) 本機 AC 入力端子部の上からガイドに沿って、「電源コード抜け防止カバー」を取り付ける

(3)「電源コード抜け防止カバー」のツメがカチッと音がするまで押し込み、取り付ける

(4) 電源プラグをコンセントに差し込む

■取り外し方

(1) 本体の主電源スイッチが「オフ」(OFF) になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

(2)「電源コード抜け防止カバー」のツメを押し下げて外す

(3)「電源コード抜け防止カバー」を本機 AC 入力端子部のガイドに沿って上に取り外す

(4) 本機の AC 入力端子（AC IN ～）から電源コードのコネクタを抜く

電源モニターについて

電源の状態を表示します。「電源モニター」の状態をよく確認し、操作してください。

点灯状況		本機の状態
消灯		主電源オフ状態
赤色	点灯	電源オフ状態（スタンバイ状態） 電源ボタンを押すと投写を開始します ※ランプ、温度モニター点滅時は動作しません
緑色	点滅	投写準備状態 しばらくすると映像を投写します
	点灯	投写状態（ON）
オレンジ色	点灯	電源オフ準備状態 しばらくすると電源オフ状態（スタンバイ状態）になります
	点滅	電源オフ準備状態中に電源ボタンを押した状態 しばらくすると映像を投写します

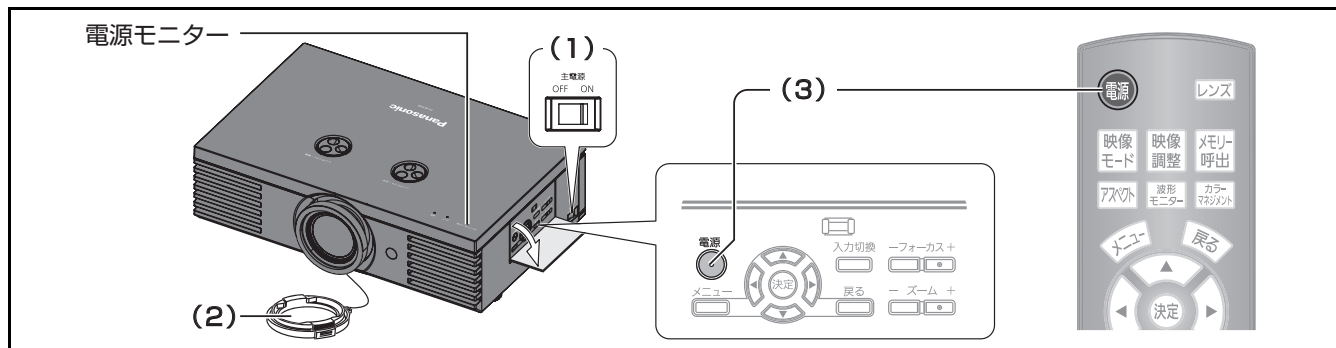
お願い :

- 電源オフ準備状態（「電源モニター」がオレンジ色に点灯）は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。主電源スイッチを「オフ」にしたり電源コードを抜いたりしないでください。

お知らせ :

- 電源オフ準備状態時に、電源ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態（「電源モニター」が赤色に点灯）でも約 0.08 W の電力を消費しています。

電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続を確認してください。（☞18 ページ）

(1) 主電源スイッチを「オン」（ON）にする

「電源モニター」が赤色に点灯します。

(2) レンズカバーを外す

投写する際は、必ずレンズカバーを取り外してください。

(3) 電源ボタンを押す

「電源モニター」が緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、「スタートアップロゴ」が投写されます。「スタートアップロゴ」については「その他の設定」メニューの「スタートアップロゴ」をご覧ください。（☞46 ページ）

お願い：

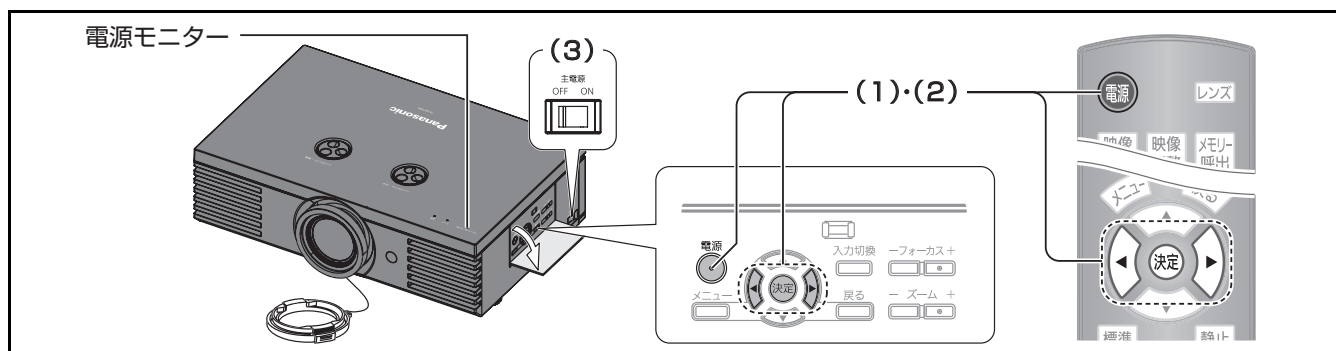
- レンズカバーに貼ってあるアルミシートをはがしたり、改造をしないでください。また、レンズカバーをしたまま投写し続けると加熱され、火災の原因となることがあります。

お知らせ：

- 電源を入れたときに「カタカタ」という音や、光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時や消灯時には、動作音が大きくなります。
- 「その他の設定」メニューの「ランプパワー」を「エコモード」に設定すると、動作音が低減します。（☞47 ページ）
- ランプ消灯直後に再び点灯を行った場合、ランプの特性上、投写開始後少しの間映像がチラつく場合がありますが、これは故障ではありません。

基本的な使い方

電源を切る

電源モニターの状態をよく確認し、操作してください。（☞20 ページ）

(1) 電源ボタンを押す

画面に電源オフ確認画面が表示されます。

(2) もう一度電源ボタンを押す（または、◀▶ ボタンで「はい」を選び、「決定」ボタンを押す）

ランプが消え映像の投写が停止。（冷却ファンは回転したままで、「電源モニター」がオレンジ色に点灯します。「電源モニター」が赤色に点灯するまでお待ちください。）

(3) 主電源スイッチを「オフ」（OFF）にする

冷却ファンが回転している間は絶対に主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

お知らせ：

- 電源オフ確認画面は「いいえ」を選ぶか、「メニュー」ボタンまたは、「戻る」ボタンを押すと消えます。
- 電源ボタンを 0.5 秒以上押した場合でも電源を切ることができます。

投写する

外部機器の接続（☞18 ページ）、電源コードの接続（☞19 ページ）を確認し、電源を入れる（☞21 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、投写の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

1）接続機器の電源を入れる

DVD プレーヤーなど、接続機器の再生を行ってください。「その他の設定」メニューの「自動入力サーチ」が「オン」の場合は、本機の電源を入れたとき、自動的に入力中の信号を検出し投写します。（☞46 ページ）

2）映像の入力を切り換える

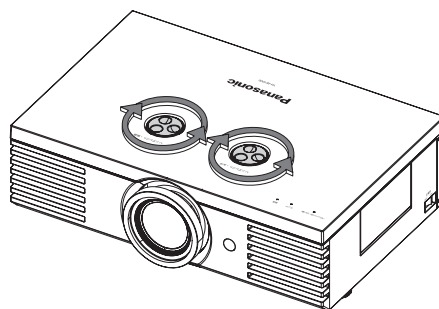
「入力切換」ボタンで選択した映像が投写されます。（☞28 ページ）

お願い :

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、「アドバンスドメニュー」の「カラー方式」を設定してください。（☞36 ページ）
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、最適なアスペクト比に切り換えてください。（☞28 ページ）

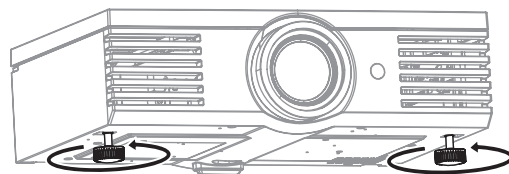
投写の映り具合を調整する

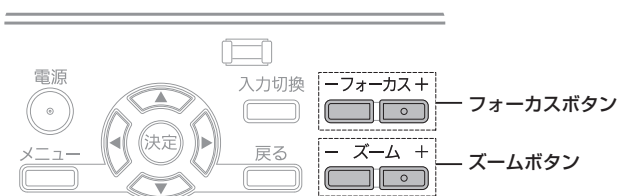
1）レンズシフトを調整する

レンズシフトダイヤル（水平・垂直）で投写位置を調整します。

- 詳しくは「レンズシフト機能による設置位置変更」をご覧ください。（☞16 ページ）

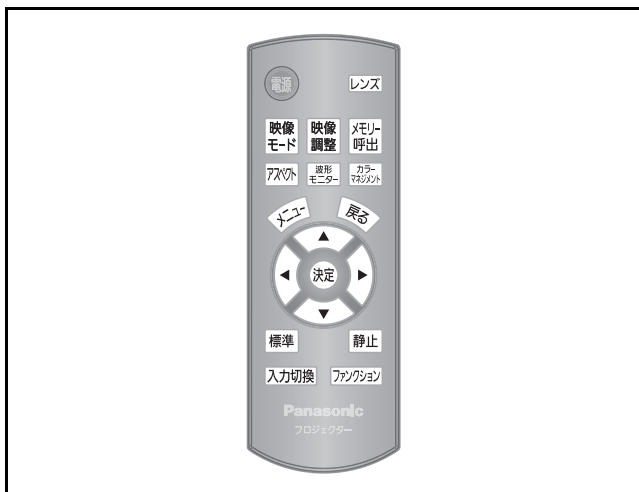
2）投写角度を調整する

アジャスター脚を伸ばし、さらに上方向に投写角度を調整できます。

- 詳しくは「アジャスター脚による投写角度調整」をご覧ください。（☞15 ページ）

3）ズームとフォーカスで調整する

ズームボタン（＋・－）とフォーカスボタン（＋・－）を押して調整します。

お知らせ :

- より正確にフォーカスを合わせるには、「レンズコントロール」を表示して調整することをお勧めします。また、リモコンでも操作することができます。（☞42 ページ）
- フォーカスボタン（＋・－）を押すと、投写サイズが変わるのでズームボタン（＋・－）を押して、再度投写サイズを微調整します。

リモコンで操作する

ズームとフォーカスを調整する

「ズーム / フォーカス」のテストパターン 1 が表示され、投写映像のサイズとフォーカスを調整することができます。

レンズ を押す

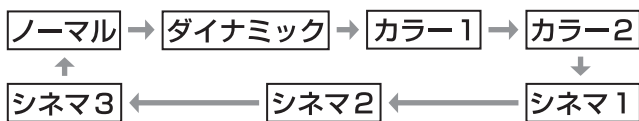
お知らせ :

● 調整方法など詳しくは、「レンズコントロール」メニューをご確認ください。(☞42 ページ)

映像メニューを選ぶ

お好みの映像設定に切り換えることができます。

映像モード を押す

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

お知らせ :

● オンスクリーンメニューでも切り換えられます。
詳しくは、「映像の調整」メニューをご確認ください。(☞32 ページ)

出荷状態に戻す

サブメニューの設定・調整の値を工場出荷状態に戻すことができます。

標準 を押す

詳しくは、「オンスクリーンメニュー」の「**メニュー画面の操作方法**－調整値を工場出荷時の状態に戻す」をご覧ください。(☞29 ページ)

「映像の調整」画面を表示する

オンスクリーンメニューの「映像の調整」メニューのうち、設定を切り換えることができる項目が一行表示することができます。

映像調整 を押す

ボタンを押すごとに「映像の調整」メニューと「アドバンスドメニュー」の項目に切り換わります。
▲▼ ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ ボタンで調整してください。

● 「映像の調整」で調整ができる項目
映像メニュー、ピクチャー、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、色温度設定、ダイナミックアイリス

● 「アドバンスドメニュー」で調整ができる項目
ガンマ、コントラスト、ブライト、ノイズリダクション、MPEG ノイズリダクション、フレームクリエーション、x.v.Color、ディテールクラリティ、シネマリアリティ、カラー方式

お知らせ :

● 調整方法など詳しくは「映像の調整」メニューをご確認ください。(☞32 ページ)

● 「戻る」ボタンまたは「メニュー」ボタンを押すか、7 秒間操作をしなければ、自動的に消えます。

保存した映像調整を呼び出す

「メモリー呼出」メニューを表示します。

メモリー呼出 を押す

お願い :

● オンスクリーンメニューでも設定できます。詳しくは「映像の調整」メニューの「メモリー呼出」をご確認ください。(☞37 ページ)

映像を一時的に静止させる

外部機器の再生に関係なく投写映像を一時的に静止することができます。

静止 を押す

もう一度押すと解除されます。

お知らせ :

● 静止画面で「決定」ボタンを押すと、「2 画面調整」のエリア選択画面が表示されます。
詳しくは、「映像の調整」メニューの「2 画面調整」をご確認ください。(☞34 ページ)

リモコンで操作する（つづき）

カラーマネジメントで色を調整 / 選択する

選択中の「映像メニュー」（☞32 ページ）に対して、調整したい色をカーソルで選択し調整できます。
調整した結果は、お好みのプロファイルとして保存でき、呼び出すことができます。

［カラーマネジメント］を押す

「カラーマネジメント」メニューが表示されます。

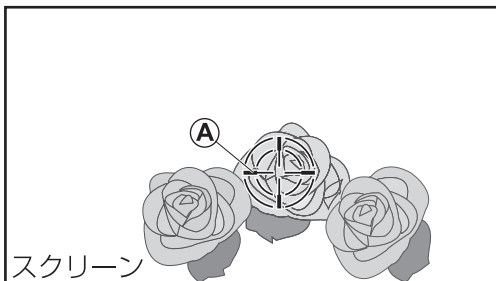
プロファイル	ノーマル
カーソル	
履 歴	
プロファイル保存	
プロファイル削除	
プロファイル名変更	

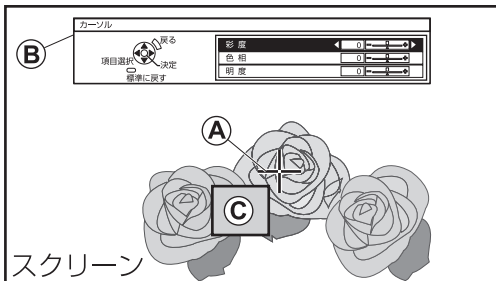
■プロファイルを作成する

●色を調整する

調整したい色をカーソルで選択し、調整します。

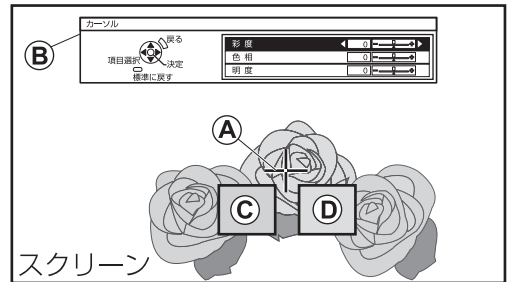
1) ▲▼ ボタンで「カーソル」を選択する

2)「決定」ボタンを押す
十字カーソル Ⓐ が表示され、投写映像が静止します。

3) ▲▼◀▶ ボタンで調整したいポイントを選択する
十字カーソル中心部を投写映像の調整したいポイントに合わせてください。

4)「決定」ボタンを押す
「カーソル」メニュー Ⓑ と、選択した色 Ⓒ が表示されます。

お知らせ :
- 調整したいポイントを画面の端に選択すると調整ができないことがあります。

5) ▲▼ ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ ボタンで調整する

彩度	色の鮮やかさを調整する ● 設定可能範囲：- 30 ～ + 30
色相	色調を調整する ● 設定可能範囲：- 30 ～ + 30
明度	色の明るさを調整する ● 設定可能範囲：- 20 ～ + 20

それぞれ工場出荷時の状態は「0」です。
調整すると、調整後の色 Ⓓ が表示されます。

6)「決定」ボタンを押す
処理中は「実行中」と表示されます。
調整したポイントは「履歴」に最大 8 個まで記憶されます。続けて他の色を調整する場合は、「戻る」ボタン、または「メニュー」ボタンを押した後、再度、手順 3）から操作してください。

7)「戻る」ボタン、または「メニュー」ボタンを 2 回押す
「カラーマネジメント」メニューに戻ります。

●履歴内容を修正・削除する

履歴に記憶した調整を修正・削除することができます。

1) ▲▼ ボタンで「履歴」を選択する

2)「決定」ボタンを押す
「履歴」メニューが表示されます。

映像メニュー：シネマ1

	彩 度	色 相	明 度
ポイント1	0	0	+2
ポイント2	-1	0	-2
ポイント3	0	+10	0
ポイント4	-10	+10	-10
ポイント5	-6	+5	+7
ポイント6	+3	-3	+1
ポイント7	0	+7	+9
ポイント8	-1	+14	-4
履歴全削除			

選択した色 ― ― 調整後の色

ポイント 1 ～ 8	▲▼ ボタンで変更したいポイントを選択し、「決定」ボタンを押すと、「変更」「削除」の選択画面が表示されます。 変更：「カーソル」メニューが表示され、色の再編集ができます。 削除：ポイントを削除します。 「決定」ボタンを押すと確認画面が表示され「はい」を選択して「決定」ボタンを押すと削除されます。

基本的な使い方

履歴 全削除	▲▼ ボタンで「履歴全削除」を選択し「決定」ボタンを押すと確認メッセージ「全ての履歴を削除します。」の画面が表示されます。 ◀▶ ボタンで「はい」を選択し、「決定」ボタンを押すと、ポイントが全て削除されます。 ポイントを全て削除すると、プロファイルはノーマルになります。

● **履歴内容をプロファイルとして保存する**

履歴内容をプロファイルとして保存します。
プロファイルは最大 3 つまで保存できます。

1) ▲▼ ボタンで「プロファイル保存」を選択し、「決定」ボタンを押す

2) ▲▼ ボタンで保存する場所を選択し、「決定」ボタンを押す

☆ユーザー1
☆ユーザー2
☆ユーザー3

★：保存している場合　☆：保存していない場合
確認画面が表示され「はい」を選択して「決定」ボタンを押す。

3)「プロファイル名入力」が表示され、プロファイル名の入力または、プロファイル名の変更をする

4) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンで入力（最大 14 文字まで入力できます。）していき、「確定」を選択し「決定」ボタンを押してプロファイル名を保存する。

● 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除でき、リモコンの「標準」を押すと、入力ボックス内のカーソルで選択されている 1 文字を削除できます。

お知らせ：
● プロファイル名を空のままで保存するとデフォルト名（ユーザー 1 ～ 3）で登録されます。

● **プロファイルの削除・全削除**

1) ▲▼ ボタンで「プロファイル削除」を選択し、「決定」ボタンを押す
「プロファイル削除」メニューが表示されます。

2) ▲▼ ボタンで削除したいプロファイルを選択し、「決定」ボタンを押す
（プロファイル全てを削除する場合、「プロファイル全削除」を選びます。）
確認画面が表示され「はい」を選択し、「決定」ボタンを押すとプロファイルが削除されます。

お知らせ：
● 全てのプロファイルが削除された場合、「カラーマネジメント」メニューに戻ります。

● **プロファイル名の変更**

1) ▲▼ ボタンで「プロファイル名変更」を選択し、「決定」ボタンを押す

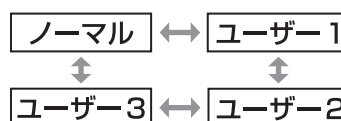
2)「プロファイル名変更」が表示され、変更するプロファイル名を選択し、「決定」ボタンを押す

3) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンで入力していき、「確定」を選択し「決定」ボタンを押して、プロファイル名を保存する。

■プロファイルを選択する

保存したプロファイル（色を調整した結果）を選択します。プロファイルで設定した調整値が映像メニューに反映され、記憶されます。

1) ▲▼ ボタンで「プロファイル」を選択する

2) ◀▶ ボタンでプロファイルを切り換える

ノーマル	映像メニューの設定となります。工場出荷時の設定です。（☞29 ページ）
ユーザー 1 ～ 3	プロファイルを保存しているときに表示されます。

お知らせ：
● 「カラーマネジメント」メニューは「映像の調整」メニューの「アドバンスドメニュー」からでも表示できます。（☞36 ページ）
● HDMI 入力の場合、「映像メニュー」での「カラー 1」モード時の「カラーマネジメント」は無効になります。
● 「履歴」、「プロファイル保存」、「プロファイル削除」、「プロファイル名変更」は調整前には表示されません。
● プロファイル保存時と呼び出し時の「映像メニュー」が同じときに、「カーソル」、「プロファイル保存」は表示されます。またこのとき、「履歴」の内容を編集することができます。
● 同じ画面内の選択した色と同じ色や近い色も変化します。
● 白色や灰色、黒色は編集できません。
● 同じ色を、別々に異なる色に編集した場合は、お望みの色に編集できない場合があります。
● 調整できるポイントは最大 8 ポイントです。
8 ポイント調整した履歴があると、「カーソル」は表示されません。
● 設定を保存すると、自動的に保存したプロファイルに切り換わります。続けて新しいプロファイルを作成するときは「プロファイル」を「ノーマル」に切り換えてから調整してください。
● プロファイルを保存する前に「カラーマネジメント」メニューを終了、またはプロファイルを変更しようとすると、保存確認画面が表示されます。ただし、入力信号の切り換えのときは確認画面が表示されず、調整内容が保存されません。

波形モニター

接続した外部入力機器の入力信号を波形表示することにより、映像出力（輝度）信号レベルが本機の推奨する範囲に納まっているかを確認し、調整することができます。

波形モニター を押す

「決定」ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

全ライン表示（Y）→全ライン表示（R）→全ライン表示（G）→全ライン表示（B）→ライン選択（Y）→ライン選択（R）→ライン選択（G）→ライン選択（B）→全ライン表示（Y）

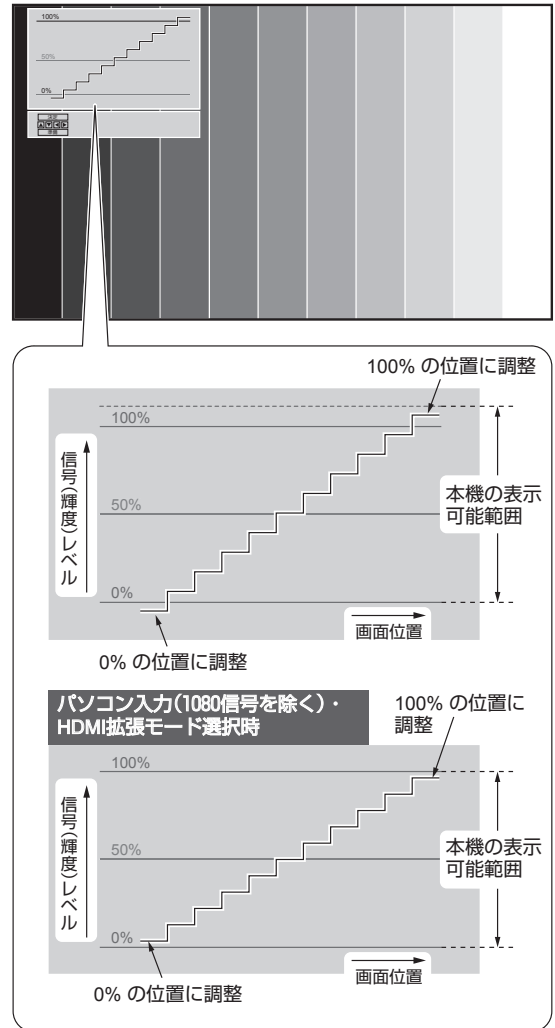
もう一度「波形モニター」ボタンを押すと「波形モニター」が「オフ」になります。

お知らせ :

- オンスクリーンメニューでも設定ができます。（☞33 ページ）

全ライン表示	画面全体の（Y- 輝度）、（R- 赤色）、（G- 緑色）、（B- 青色）のそれぞれの波形が推奨する範囲に納まっているかを確認します。
ライン選択	画面の上部から下部までの任意の横ラインで（Y- 輝度）、（R- 赤色）、（G- 緑色）、（B- 青色）のそれぞれの波形が推奨する範囲に納まっているかを確認します。 ●「全ライン表示」よりもさらに細かく確認ができます。 ● ライン位置は ▲▼ ボタンで移動できます。 ● ライン位置によって、「波形モニター」表示位置が変わります。

■波形を調整する

市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号（0 %[0 IRE または 7.5 IRE] ～ 100 %[100 IRE]）を投写し、調整を行います。

「波形モニター」を表示させた状態で、リモコンの「メニュー」ボタンを押し、オンスクリーンメニューの「映像の調整」と「アドバンスドメニュー」で調整します。

1）全ライン表示（Y- 輝度）／ライン選択（Y- 輝度）を調整する

- 「映像の調整」にし、「黒レベル」、「ピクチャー」項目の順に ◀▶ ボタンで調整します。

黒レベル	表示信号の黒レベル 0 %（0 IRE または 7.5 IRE）を 0 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32
ピクチャー	表示信号の白レベル 100 %（100 IRE）を 100 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 64 ～＋ 64

2）全ライン表示（R- 赤色）／ライン選択（R- 赤色）を調整する

- 「アドバンスドメニュー」にし、「ブライト R」、「コントラスト R」項目の順に ◀▶ ボタンで調整します。

ブライト R	表示信号の黒レベル 0 % (0 IRE または 7.5 IRE) を 0 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 16 ～ + 16
コントラスト R	表示信号の白レベル 100 %（100 IRE）を 100 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

3）全ライン表示（G- 緑色）／ライン選択（G- 緑色）を調整する

- 「アドバンスドメニュー」にし、「ブライト G」、「コントラスト G」項目の順に ◀▶ ボタンで調整します。

ブライト G	表示信号の黒レベル 0 % (0 IRE または 7.5 IRE) を 0 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 16 ～ + 16
コントラスト G	表示信号の白レベル 100 %（100 IRE）を 100 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

4）全ライン表示（B- 青色）／ライン選択（B- 青色）を調整する

- 「アドバンスドメニュー」にし、「ブライト B」、「コントラスト B」項目の順に ◀▶ ボタンで調整します。

ブライト B	表示信号の黒レベル 0 % (0 IRE または 7.5 IRE) を 0 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 16 ～ + 16
コントラスト B	表示信号の白レベル 100 %（100 IRE）を 100 %の位置に調整する ● 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

お知らせ :
- リモコンの「映像調整」でも「映像の調整」、「アドバンスドメニュー」の項目で調整ができます。
- 「映像調整」ボタンは、押すごとに「映像の調整」と「アドバンスドメニュー」の項目に切り換わります。
- 「波形モニター」上において 0 %以下の信号は映像上では 0 %として表示されます。
- 「ライン選択」は、全ライン表示よりもさらに細かく画面上部から下部までの横ラインを（Y- 輝度）、(R- 赤色)、(G- 緑色)、(B- 青色）で表示することができ、各項目で「全ライン表示」と同じように調整することができます。
- 全ライン表示をしているときに▲▼◀▶ボタンで入力波形の表示位置を設定することができます。
- 「映像調整」での個別調整画面の表示が「波形モニター」に干渉しないよう、個別調整画面の表示位置は、そのときの状態によって変更されます。
- 「波形モニター」を表示したときに、「標準」ボタンを押すと「波形自動調整」が実行されます。(☞33 ページ)
- 「波形モニター」を表示している間は、「カラーマネジメント」は無効になりますので、色の見え方が変わる場合があります。
- 「波形モニター」を表示している間は、「画面位置の調整」の「台形補正」時には、「x.v.Color」は無効になりますので、色の見え方が変わる場合があります。

ファンクションボタンを使用する

よく使う操作を割り当てショートカットボタンとして使用することができます。

ファンクション を押す

●「ファンクション」ボタンに割り当て可能な操作

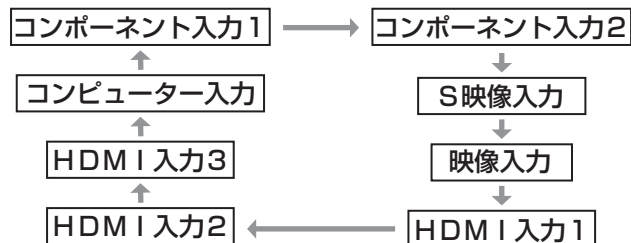
HDMI 1/2/3 入力	ノーマル
コンピューター入力	ダイナミック
コンポーネント 1/2 入力	カラー 1/2
S 映像入力	シネマ 1/2/3
映像入力	2 画面調整
ブランク	波形自動調整
自動位置補正	レンズメモリー呼出
ピクチャー	黒レベル
コントラスト R/G/B	ブライト R/G/B

お知らせ :
- 「ファンクション」ボタンに操作を割り当てるには、「**ファンクションボタン**」メニューをご覧ください。(☞45 ページ)

入力を切り換える

投写する入力を切り換えることができます。

入力切換 を押す

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

コンポーネント入力１ / ２	コンポーネント入力１ / ２端子に接続した信号 [コンポーネント信号 (YPBPR)]
S 映像入力	S 映像入力端子に接続した信号 [S ビデオ信号]
映像入力	映像入力端子に接続した信号 [ビデオ信号]
HDMI 入力 １ / ２ / ３	HDMI 入力 1/ ２ / ３端子に接続した信号 [HDMI 信号]
コンピューター入力	コンピューター入力端子に接続した信号 [RGB 信号]

「その他の設定」メニューの「入力ガイド」を「詳細表示」(☞46 ページ）にしているとき、画面右上部に入力端子のグラフィックが表示され、選択中の入力端子を確認できます。
（選択中の入力端子は黄色で強調されます。）
このとき ▲▼◀▶ ボタンでも入力を切り換えることができます。
入力切り換え操作をしてから、映像が切り換わるまで、時間がかかる場合があります。

お願い :

- 「対応信号リスト」で記載している信号を入力してください。(☞55 ページ)

お知らせ :

- 入力端子については「接続する」をご覧ください。(☞18 ページ)
- 操作をしなければ、入力ガイドの表示は、自動的に消えます。
  「入力ガイド」が「詳細表示」のとき：約３秒
  「入力ガイド」が「簡易表示」のとき：約３秒
- 信号が入力されていない入力端子を選択した場合、入力端子のグラフィック全体が点滅し、お知らせします。入力されるまで表示します。

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換える

入力に応じた、映像の縦横比（アスペクト）を切り換えることができます。

アスペクト を押す

ボタンを押すごとに下表のように切り換わります。
選択している入力端子によって切り換わり方は異なります。

入力端子	アスペクト
映像 / S 映像 / コンポーネント※ (YPBPR)	オート → 4：3 → 16：9 → S16：9 → ジャスト → ズーム → オート
コンピューター※ (RGB)	4：3 ↔ 16：9
HDMI ※	4：3 → 16：9 → S16：9 → 4：3

※切り換わり方は信号によって異なります。
(☞40 ページ)

お願い :

- アスペクト比 4:3 の映像を 16:9 で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比 4:3 で投写してください。

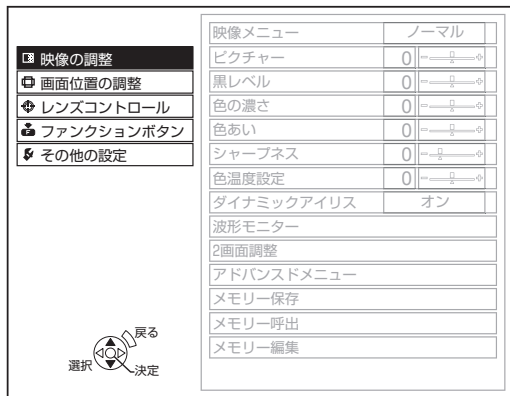
お知らせ :

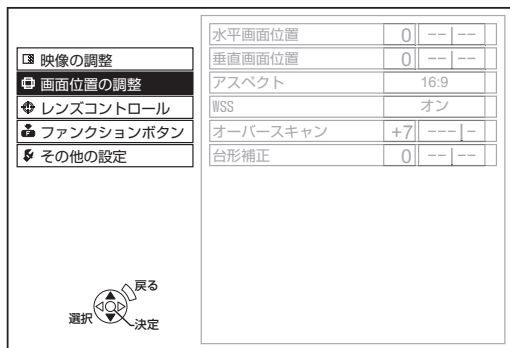
- アスペクト比は、オンスクリーンメニューでも切り換えられます。詳しくは、「画面位置の調整」メニューの「アスペクト」をご確認ください。(☞40 ページ)
- 入力している信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。
- 「オート」に設定したとき、入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換わります。
- ビデオ、コンポーネント（YPBPR）信号の場合、「オート」が表示されない場合があります。
- シネマビジョンサイズなどの 16:9 よりも横長の映像を投写すると、上下に黒い領域ができる場合があります。
- 海外の放送方式の信号を受けたときは、対応するアスペクト比のモードが前記の表と異なります。

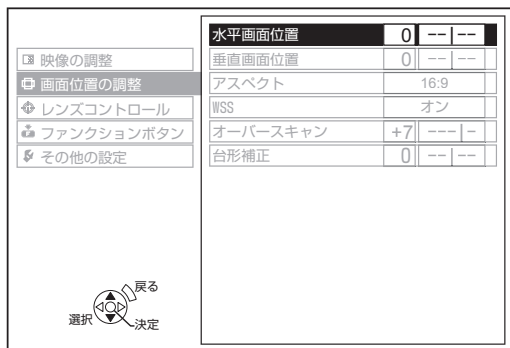
メニュー画面の操作方法

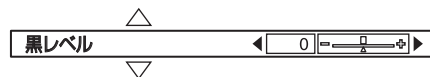
■操作の手順

1)「メニュー」ボタンを押す

メインメニューが表示されます。

2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

「映像の調整」「画面位置の調整」「レンズコントロール」「ファンクションボタン」「その他の設定」の５つの項目から調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。

3)「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示され、サブメニューの項目を選択できるようになります。

4) ▲▼ ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ を押して設定の切り換えや調整を行う

設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。

項目名のみの項目は、「決定」ボタンを押すと、次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

お知らせ:

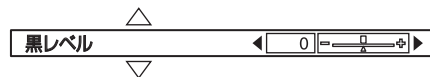
- メニュー画面が表示されている状態で「戻る」ボタンまたは「メニュー」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- サブメニューの項目については、30、31 ページをご覧ください。

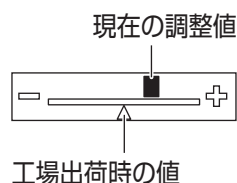
■調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの標準ボタンを押すと、設定・調整の値が工場出荷時の状態に戻ります。

標準 を押す

表示されている画面によって動作が異なります。

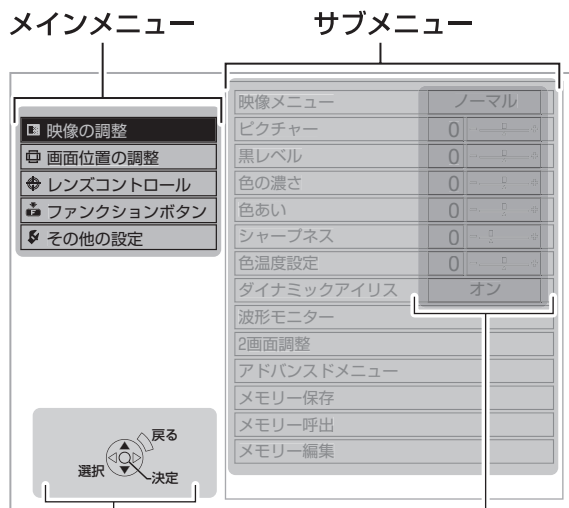
- サブメニュー画面表示時
  表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時
  調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。

お知らせ:

- 全ての設定を一括に工場出荷時の状態には戻せません。
- 「標準」ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面でバースケールの下の三角マークは、工場出荷時の状態を示しています。
  また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。

オンスクリーンメニューについて（つづき）

本機の各種設定や調整はオンスクリーンメニューを使用します。
オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご確認ください。（☞29 ページ）

オンスクリーンメニュー

オンスクリーンメニューが表示されます。
オンスクリーンメニューは、メインメニューとサブメニューで構成されています。

を押す

各メニューの操作方法が表示されます。

メインメニュー

メインメニューには以下の５つの項目があります。
メインメニューを選択するとサブメニューの選択画面に移ります。

	映像の調整
	画面位置の調整
	レンズコントロール
	ファンクションボタン
	その他の設定

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■映像の調整 [ ]

● S 映像入力 / 映像入力 / コンポーネント入力 /HDMI 入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像メニュー	ノーマル	32
ピクチャー	0	32
黒レベル	0	32
色の濃さ	0	32
色あい	0	32
シャープネス	0	33
色温度設定	0	33
ダイナミックアイリス	オン	33
波形モニター	―	33
２画面調整	―	34
アドバンスドメニュー	―	35
メモリー保存	―	37
メモリー呼出	―	37
メモリー編集	―	38
表示モード *1		38

*1：コンポーネント入力 /HDMI 入力時のみ

● コンピューター入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像メニュー	ノーマル	32
ピクチャー	0	32
黒レベル	0	32
シャープネス	0	33
色温度設定	0	33
ダイナミックアイリス	オン	33
波形モニター	―	33
２画面調整	―	34
アドバンスドメニュー	―	35
メモリー保存	―	37
メモリー呼出	―	37
メモリー編集	―	38
表示モード		38

お知らせ :

● 映像メニューによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

■画面位置の調整 [ ]

● S 映像入力 / 映像入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
水平画面位置	0	39
垂直画面位置	0	39
アスペクト	オート	40
WSS	オン	41
オーバースキャン	+7	41
台形補正	0	41

● コンポーネント入力 / コンピューター入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
水平画面位置	0	39
垂直画面位置	0	39
クロック調整 *1	0	39
クロック位相	0	39
アスペクト	16 : 9	40
WSS*2	オン	41
オーバースキャン *2	0	41
台形補正	0	41
自動位置補正 *1	ー	41

*1：コンピューター入力時のみ
*2：コンポーネント入力時のみ

● HDMI 入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
水平画面位置	0	39
垂直画面位置	0	39
アスペクト	16 : 9	40
オーバースキャン	0	41
台形補正	0	41

■レンズコントロール [ ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
ズーム / フォーカス	–	42
レンズメモリー呼出	–	42
レンズメモリー保存	–	42
レンズメモリー編集	–	43
水平映像位置	0	44
垂直映像位置	0	44

■ファンクションボタン [ ]

項目の詳細（☞45 ページ参照）

サブメニュー項目	工場出荷時
ファンクション	HDMI 1 入力

■その他の設定 [ ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
入力ガイド	詳細表示	46
OSD デザイン	タイプ 1	46
OSD ポジション	中央	46
バックカラー	ブルー	46
スタートアップロゴ	オン	46
自動入力サーチ	オン	46
HDMI 信号レベル *1	通常	46
フレームレスポンス	通常	46
設置方法	フロント / 床置き	47
オフタイマー	オフ	47
高地モード	オフ	47
ランプパワー	ノーマル	47
ランプ使用時間	ー	47

*1：HDMI 入力時のみ

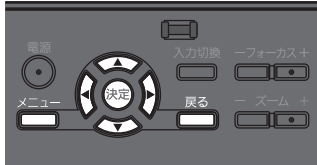
お知らせ :
● サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

「映像の調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞29 ページ）のメインメニューから「映像の調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調整を行ってください。

リモコン

本体操作部

映像メニュー

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定します。

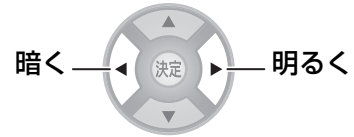
設定を切り換える
設定を切り換える

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

ノーマル	一般的な映像（スポーツ、ゲームなど）をご覧になる場合
ダイナミック	より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合
カラー1	HDTV 規格 (ITU-R BT.709) の色温度 6500 K に対応した映像モード（但し、映像メニューの各種設定値が初期設定値の場合）
カラー2	DCDM 規格（SMPTE431-2）の色温度 6300 K に対応した映像モード（但し、映像メニューの各種設定値が初期設定値の場合）
シネマ 1	米国ハリウッドのトップカラーリストとつくりこんだモード。映画をしっとりとした画質でご覧になる場合
シネマ 2	映画を深みのある画質でご覧になる場合
シネマ3	アクション映画やアニメなど、あざやかな映画をくっきりした画質でご覧になる場合

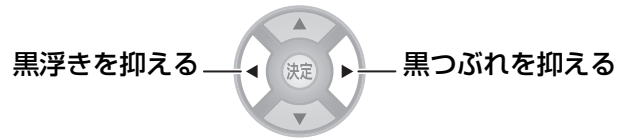
お知らせ :
- 映像メニューを切り換えた際に、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。

ピクチャー

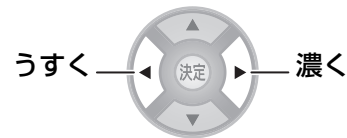
色の明暗度を調整します。

- 設定可能範囲：- 64 ～ + 64

お願い :
- 黒レベルを調整する必要がある場合は、黒レベルを先に調整してください。

黒レベル

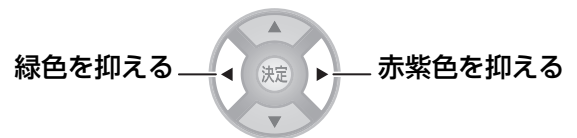
画面の暗い部分（黒色）を調整します。

- 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

色の濃さ

色の濃さを調整します。

- 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

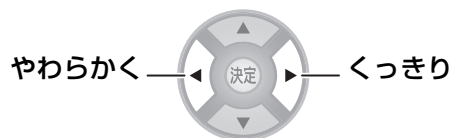
お知らせ :
- コンピューター信号入力時は、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p 信号のみ調整が行えます。

色あい

肌色の部分を調整します。

- 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

お知らせ :
- コンピューター信号入力時は、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p 信号のみ調整が行えます。

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

お知らせ :
- 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかる場合に調整します。

- 設定可能範囲：- 6 ～＋ 6

ダイナミックアイリス

映像に合わせてランプ制御、光量絞り（アイリス）制御をします。暗部のよく引き締まった、メリハリ感のある映像表現に補正します。

オン	ダイナミックアイリス有効
オフ	ダイナミックアイリス無効

波形モニター

市販の調整用ディスクなどを使用し、接続した外部入力機器からの出力（輝度）信号レベルを本機の推奨する値の範囲内に設定することで、本機の表示性能をより発揮するように調整できます。

● オフ
全ライン表示（Y）
全ライン表示（R）
全ライン表示（G）
全ライン表示（B）
ライン選択（Y）
ライン選択（R）
ライン選択（G）
ライン選択（B）
モニターポジション　◀ 左上 ▶
波形自動調整

1）▲▼ ボタンで調整する項目を選ぶ

2）「決定」ボタンを押す

3）「戻る」ボタンを押す
- 「映像の調整」で項目を選び、調整します。

■モニターポジション

入力波形の表示位置を設定します。

お知らせ :
- 詳しくは、「リモコンで操作する」の「波形モニター」をご覧ください。（☞26 ページ）

■波形自動調整

接続した外部入力機器からの出力（輝度）信号レベルを波形自動設定項目の設定をすることで、自動調整します。

波形自動調整項目	工場出荷時
黒レベル調整	オン
白レベル調整	オン
RGB 個別調整（黒側）	オフ
RGB 個別調整（白側）	オフ

1）▲▼ ボタンで調整する項目を選ぶ

2）◀▶ ボタンで調整を切り換える

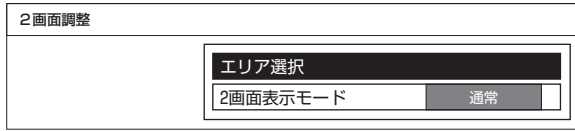
3）▲▼ ボタンで「自動調整開始」を選び、「決定」ボタンを押す
- 「自動調整中」のメッセージが表示され、調整が終了すると結果反映の確認画面が表示されます。

4）◀▶ ボタンで「はい」を選ぶ

5）「決定」ボタンを押す

お知らせ :
- 黒レベル調整が「オン」のとき、表示信号の Y(輝度) の黒レベルを 0 %の位置に自動調整します。
- 白レベル調整が「オン」のとき、表示信号の Y(輝度) の白レベルを 100 %の位置に自動調整します。
- RGB 個別調整 (黒側) が「オン」のとき、表示信号の R(赤色)、G(緑色)、B(青色) のそれぞれの黒レベルを 0 %の位置に自動調整します。
- RGB 個別調整 (白側) が「オン」のとき、表示信号の R(赤色)、G(緑色)、B(青色) のそれぞれの白レベルを 100 %の位置に自動調整します。
- 「波形モニター」が「オフ」の場合、波形自動調整は実行できません。
- 市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号を投写し、自動調整を行ってください。ただし調整用ディスクでも、ディスク自体にノイズが含まれている場合や、再生機がノイズを発生する場合、正しく自動調整できない場合があります。
- 波形自動調整は、画面内の 0 %および 100 %の基準信号をもとに調整を行いますので、オーバースキャン等で基準信号が画面内に表示されない場合、または 0 %未満の信号や 100 %を超える信号が画面内に表示されている場合は、正しく自動調整できません。

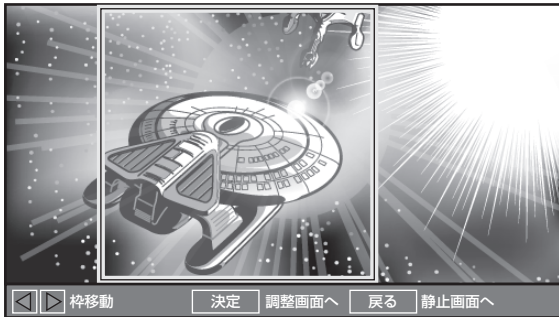
２画面調整

静止画を２画面表示させて、最適な映像に調整することができます。

お知らせ:

- ２画面表示モードを ◀▶ ボタンで「通常」から「反転」に切り換えると２画面時で、左画面の左右を反転し、調整することもできます。

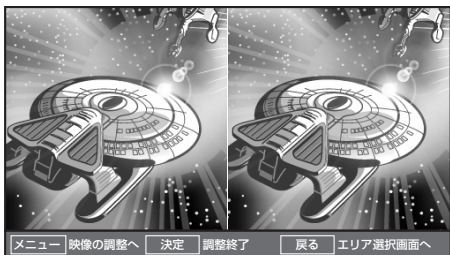
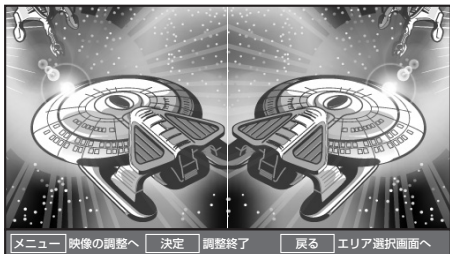
1）「決定」ボタンを押すと静止状態となり、「エリア」が表示される

- 投写中の画像をメモリーに記録し、静止画として画面表示されます。

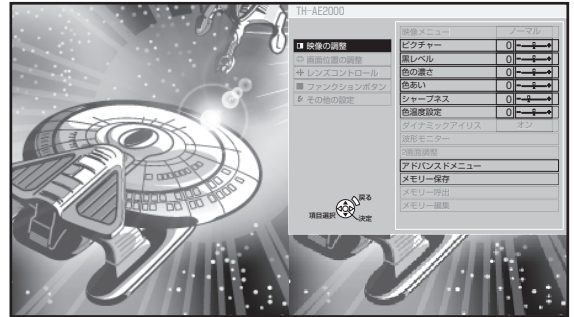
2） ◀▶ ボタンで調整したい「エリア」を選ぶ

お知らせ:

- 「戻る」ボタンを押すと、静止画面（「リモコンで操作する」の「映像を一時的に静止させる」）になります。（☞23 ページ）

3）「決定」ボタンを押し、調整画面にする

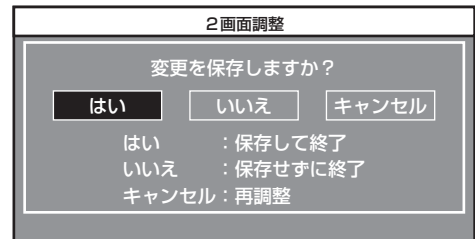
- ２画面表示になります。

［２画面表示モード「通常」時］

［２画面表示モード「反転」時］

4）「メニュー」ボタンを押し、調整する

- 右画面に「メニュー画面」が表示され、最適な映像に調整します。

- 調整ができる項目

サブメニュー項目	ページ
ピクチャー	32
黒レベル	32
色の濃さ	32
色あい	32
シャープネス	33
色温度設定	33
アドバンスドメニュー	35

5）「戻る」ボタンを押し、調整画面に戻る

6）「決定」ボタンを押す

- 確認画面が表示され
「はい」を選択して「決定」ボタンを押すと、調整した内容が映像に反映され、「静止画面」に戻ります。
「いいえ」を選択して「決定」ボタンを押すと、調整前の「静止画面」に戻ります。

お知らせ:

- 確認画面で「キャンセル」を選択し、「決定」ボタンを押したとき、調整画面に戻ります。

7）「戻る」ボタンで投写映像に戻る

- 調整された投写映像がご覧になれます。

お知らせ:

- ２画面調整時は、灰色で表示されているメニュー項目は調整できません。
- ２画面調整時は、「画面位置の調整」の「台形補正」は無効になります。

アドバンスドメニュー

映像をさらに詳細に調整することができます。
「決定」ボタンを押すと「アドバンスドメニュー」が表示されます。

■ガンマ

明るい（高レベル）、中間（中レベル）、暗い（低レベル）シーンの階調を調整します。

アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
ガンマ高レベル	0
ガンマ中レベル	0
ガンマ低レベル	0

- 設定可能範囲：- 8 ～ + 8

■コントラスト

主に白色を中心とした色温度を調整します。
R（赤色）、G（緑色）、B（青色）

アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
コントラスト R	0
コントラスト G	0
コントラスト B	0

- 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

■ブライト

主に黒色を中心とした色温度を調整します。
R（赤色）、G（緑色）、B（青色）

アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
ブライト R	0
ブライト G	0
ブライト B	0

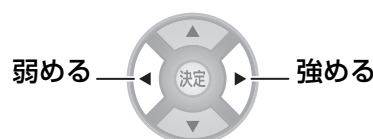
- 設定可能範囲：- 16 ～ + 16

■ノイズリダクション

入力信号が劣化している際に生じるノイズを除去することができます。

- 設定可能範囲：0 ～ + 3

■MPEG ノイズリダクション

MPEG（☞62 ページ）圧縮された映像を投写する際に生じるノイズを除去することができます。

- 設定可能範囲：0 ～ + 3

お願い：
- MPEG 映像を投写する場合、強めに設定してください。
- コンピューター / HDMI（VGA60）の信号には対応していません。

■フレームクリエーション

映像の残像感を抑えて、動きを滑らかにします。

オフ	フレームクリエーション無効
モード1	標準的な映像に有効
モード2	映画などの映像に有効

お知らせ：
- 映像によって、効果がわかりにくい場合があります。
- 「モード2」を選択したとき、映像によっては遅れて見える場合があります。その場合「オフ」または「モード1」を選んでください。

■カラーマネジメント

選択中の「映像メニュー」（☞32 ページ）に作成したプロファイルを設定できます。

お知らせ :
- 詳しくは、「カラーマネジメントで色を調整 / 選択する」をご覧ください。（☞24 ページ）

■x.v.Color

この機能を有効にすると、国際標準規格（x.v.Ycc）に対応した映像信号を最適な画質で見ることができます。

オン	x.v.Color 有効
オフ	x.v.Color 無効

お知らせ :
- この機能は、国際標準規格（x.v.Ycc）対応信号を HDMI 入力時に「映像メニュー」での「カラー1」モード時のみ有効です。

■ディテールクラリティ

映像の輪郭を調整する。

オン	はっきりきわだたせる
オフ	やわらかい感じにする

■シネマリアリティ

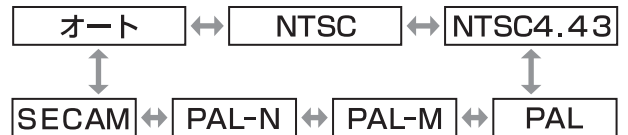
映画など毎秒 24 コマで撮影された映像を忠実に投写したいときに設定します。

オン	シネマリアリティ有効
オフ	シネマリアリティ無効

お知らせ :
- インターレース信号のみに対応します。

■カラー方式

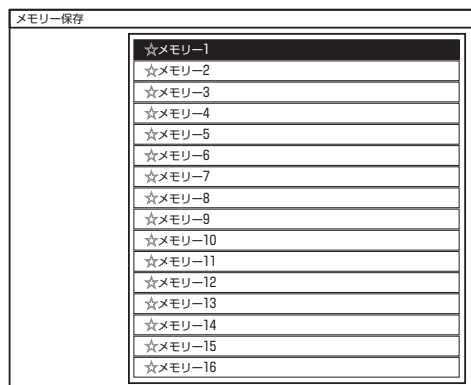
[S 映像入力 / 映像入力のみ]
入力信号に合ったカラー方式を設定します。

オート ↔ NTSC ↔ NTSC4.43
↕ ↕
SECAM ↔ PAL-N ↔ PAL-M ↔ PAL

お願い :
- 通常は「オート」に設定してください。
- 「オート」で正常に映らない場合は、それぞれのテレビ方式に設定を切り換えてください。
日本国内では NTSC（☞62 ページ）のテレビの信号方式が使われています。

お知らせ :
- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL60/PAL-N/SECAM の中から自動的に判別します。

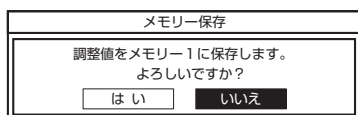
調整と設定

メモリー保存

「決定」ボタンを押すと、「メモリー保存」メニューが表示されます。映像調整した設定内容（調整値）をお気に入りとして保存することができます。

★：保存している場合
☆：保存していない場合

1）▲▼ ボタンで保存する番号を選ぶ

2）「決定」ボタンを押す

「メモリー保存」確認画面が表示されます。

3）◀▶ ボタンで「はい」を選ぶ

4）「決定」ボタンを押す

- 「メモリー名入力」が表示され、メモリー名の入力または、メモリー名の変更をします。

5）▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力する（最大 16 文字まで入力できます。）

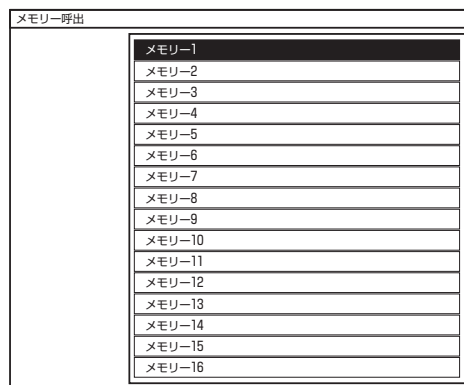
- 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「標準」を押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している 1 文字を削除できます。

6）▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ：

- メモリー名を空のままで保存すると、デフォルト名（メモリー1～16）が登録されます。

メモリー呼出

「決定」ボタンを押すと、「メモリー呼出」メニューが表示されます。「メモリー保存」で登録した内容を呼び出すことができます。

1）▲▼ ボタンで呼び出す番号を選ぶ

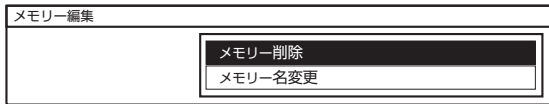
2）「決定」ボタンを押す

呼び出した番号の映像調整に切り換わります。

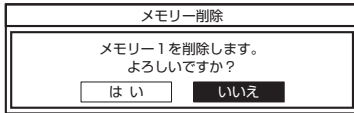
お知らせ：

- 「メモリー保存」で設定を保存していない場合や「メモリー全削除」を行った場合は、「メモリー呼出」の項目は表示されません。
- リモコンでの呼び出し方法については、「リモコンで操作する」の「保存した映像調整を呼び出す」をご覧ください。（☞23 ページ）

メモリー編集

「決定」ボタンを押すと、「メモリー編集」メニューが表示されます。メモリーの削除やメモリー名の変更ができます。

■メモリー削除

1) ▲▼ ボタンで削除するメモリー名を選ぶ

2)「決定」ボタンを押す

3) ◀▶ ボタンで「はい」を選ぶ

4)「決定」ボタンを押す

メモリー全削除	▲▼ ボタンで「メモリー全削除」を選択し、「決定」ボタンを押すと確認メッセージ「全てのメモリーを削除します。」の画面が表示されます。◀▶ ボタンで「はい」を選択し、「決定」ボタンを押すと、メモリーが全て削除されます。

■メモリー名変更

1) ▲▼ ボタンで変更するメモリー名を選ぶ

2)「決定」ボタンを押す

3) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力する（最大 16 文字まで入力できます。）

- 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「標準」を押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している1文字を削除できます。

4) ▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す

- 中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

お知らせ :
- メモリー名が空のままで「確定」すると、デフォルト名（メモリー 1 〜 16）が登録されます。

表示モード

[コンピューター / コンポーネント /HDMI 入力のみ]
現在投写している信号名を表示します。

お知らせ :
- 信号の詳細については「対応信号リスト」の表をご覧ください。（☞55 ページ）

調整と設定

「画面位置の調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞29 ページ）のメインメニューから「画面位置の調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで画面位置の調整を行ってください。

リモコン

本体操作部

水平画面位置

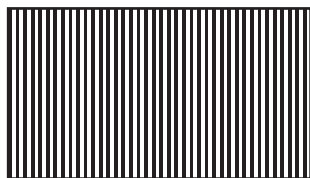
映像を左右に調整します。

垂直画面位置

映像を上下に調整します。

クロック調整

（コンピューター入力のみ）

縦縞模様を投写した際に発生するノイズを軽減する際に調整します。
下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生する場合があります。この場合に ◀▶ ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。

お願い :

- クロック位相より先に調整してください。

クロック位相

[コンピューター / コンポーネント入力のみ]
クロック調整後さらにノイズを軽減させることができます。
◀▶ ボタンでノイズが目立たなくなるように調整してください。

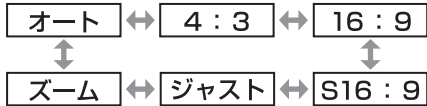
お知らせ :

- ドットクロック周波数が 150 MHz 以上の信号を投写時は、「クロック調整」や「クロック位相」を調整してもノイズがなくならない場合があります。
- コンポーネント（YPBPR）信号入力時は、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p、1 125 (1 080)/24p、750 (720)/60p、750 (720)/50p 信号時のみ調整が行えます。

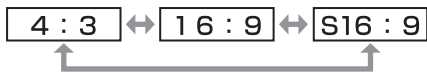
「画面位置の調整」メニューについて（つづき）

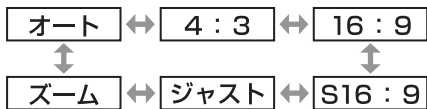
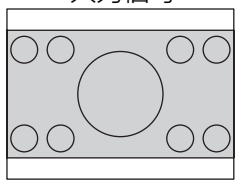
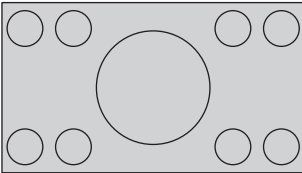
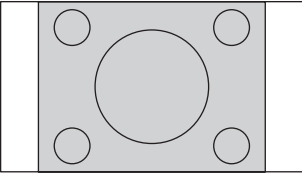
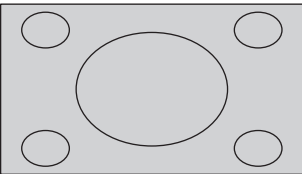
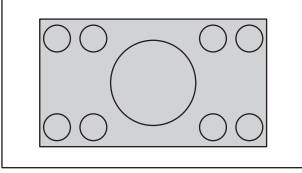
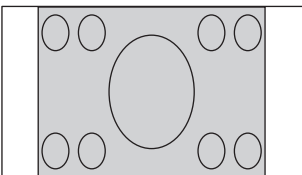
アスペクト

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。
入力する信号によって切り換わります。

■ビデオ /S ビデオ信号

■コンピューター（RGB）信号

お知らせ：
- WIDE480/600/720/768/768-2/800/900/1 080 信号の場合は、アスペクト比が固定されているため切り換えできません。

■HDMI 信号

お知らせ：
- 1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p、1 125 (1 080)/24p、750 (720)/60p、750 (720)/50p 信号の場合は、16:9 ⇔ S16:9 ⇔ H フィット ⇔ V フィット ⇔ ズーム⇔ 4:3 の順に切り換わります。
- 525p (480p)、625p (576p) 信号の場合は、4:3 ⇔ 16:9 ⇔ S16:9 ⇔ ジャスト ⇔ ズームの順に切り換わります。

■コンポーネント (YPBPR) 信号

お知らせ：
- 1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p、1 125 (1 080)/24p、750 (720)/60p、750 (720)/50p 信号の場合は、16:9 ⇔ H フィット ⇔ V フィット ⇔ ズームの順に切り換わります。

アスペクト	画面
4:3 アスペクト比を 4:3 にして投写します。	入力信号 ↓ 投写画面
16:9 アスペクト比を 16:9 にして投写します。（横方向に拡大）	入力信号 ↓ 投写画面
S16:9 アスペクト比 16:9 の映像を 4:3 のスクリーンに投写します。	入力信号 ↓ 投写画面
ジャスト アスペクト比を 16:9 にして投写します。アスペクト比 4:3 の映像を投写する場合、画面中心部の歪みが少なくなります。（横方向に拡大）	入力信号 ↓ 投写画面

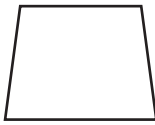
アスペクト	画面
ズーム アスペクト比を固定したまま拡大します。投写映像が切れて表示される場合がありますが、映像を忠実に再現できます。 ▲▼ボタンで垂直位置を調整することができます。 （調整前にメニュー画面を消してください。）	入力信号 ↓ 投写画面
H- フィット アスペクト比を 16:9 にして投写します。 （横方向に拡大） 1 125 (1 080)/60i、 1 125 (1 080)/50i、 1 125 (1 080)/60p、 1 125 (1 080)/50p、 1 125 (1 080)/24p、 750 (720)/60p、 750 (720)/50p の信号のみ。	入力信号 ↓ 投写画面
V - フィット アスペクト比を 16:9 にして投写します。 （縦方向に拡大） ▲▼ボタンで垂直位置を調整することができます。 （調整前にメニュー画面を消してください。） 1 125 (1 080)/60i、 1 125 (1 080)/50i、 1 125 (1 080)/60p、 1 125 (1 080)/50p、 1 125 (1 080)/24p、 750 (720)/60p、 750 (720)/50p の信号のみ。	入力信号 ↓ 投写画面

WSS

欧州の放送方式で入力信号に識別信号があれば、自動的にアスペクト比を切り換えます。
（☞62 ページ）

お知らせ :
- PAL/625i (576i)/625p (576p) 信号入力時のみアスペクト比が切り換わります。

オーバースキャン

投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

- 設定可能範囲：0 ～＋ 10

お知らせ :
- コンピューター信号入力以外で調整できます。

台形補正

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりする場合に発生する台形ひずみを補正します。

画面の状態	操作
（上辺が広い台形）	▶
（下辺が広い台形）	◀

- 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32

お知らせ :
- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して± 30 度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。
- メニュー画面に台形補正は機能しません。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量によっては、画像の縦横比がずれる場合があります。

自動位置補正

[コンピューター入力のみ]
「決定」ボタンを押すと、「水平画面位置」、「垂直画面位置」、「クロック調整」、「クロック位相」を入力信号に合わせて、自動的に調整します。

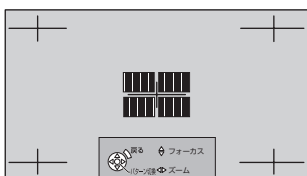
「レンズコントロール」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞29 ページ）のメインメニューから「レンズコントロール」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで画面位置の調整を行ってください。

リモコン

本体操作部

ズーム / フォーカス

「決定」ボタンを押すと、「ズーム / フォーカス」のテストパターン 1 が表示されます。
パターンのサイズとフォーカスが合うように調整してください。（☞22 ページ）

テストパターン 1

1） ◀▶ ボタンで「ズーム」、▲▼ ボタンで「フォーカス」を合わせる

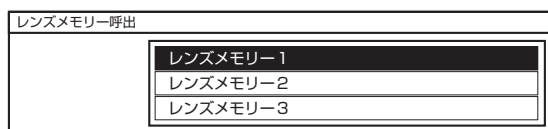
2）「決定」ボタンを押す
テストパターン 2 が表示されます。
再度、フォーカスを確認してください。
もう一度「決定」ボタンを押すと、入力している映像に切り換わり、さらに「決定」ボタンを押すとテストパターン 1 の画面に戻ります。

テストパターン 2

3）「戻る」ボタンまたは、「メニュー」ボタンを押す
「レンズコントロール」メニューに戻ります。

お知らせ：
- 本体を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりする場合は、画面の上端部と下端部でフォーカスがずれてしまいます。画面中央でフォーカスを合わせてください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「画面位置の調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞41 ページ）
- リモコンでレンズをコントロールする方法については、「リモコンで操作する」の「ズームとフォーカスを調整する」をご覧ください。（☞23 ページ）

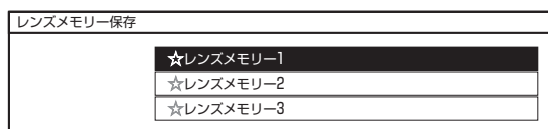
レンズメモリー呼出

「決定」ボタンを押すと、「レンズメモリー呼出」メニューが表示されます。「レンズメモリー保存」(☞ 次の項目) で登録したズームとフォーカスの調整位置と水平映像位置と垂直映像位置（☞44 ページ）の調整値を呼び出すことができます。

1） ▲▼ ボタンで呼び出す番号を選ぶ

2）「決定」ボタンを押す
呼び出した番号の映像調整に切り換わります。

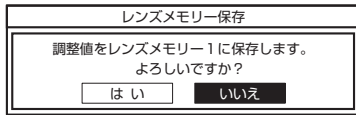
お知らせ：
- このレンズメモリー機能は調整の再現を 100%保証するものではありません。
- 「レンズメモリー呼出」を実行中に電源が切れた場合、電源再起動後は、電源が切れる前の状態と異なっている場合があります。再度ズーム、フォーカスの調整を行ってください。
- 「レンズメモリー保存」で設定を保存していない場合や「レンズメモリー全削除」を行った場合は、「レンズメモリー呼出」の項目は表示されません。

レンズメモリー保存

「決定」ボタンを押すと、「レンズメモリー保存」メニューが表示されます。
ズームとフォーカスの調整位置と水平映像位置と垂直映像位置（☞44 ページ）の調整値を保存することができます。

★：保存している場合
☆：保存していない場合

1）▲▼ ボタンで保存する番号を選ぶ

2）「決定」ボタンを押す

「レンズメモリー保存」確認画面が表示されます。

3）◀▶ ボタンで「はい」を選ぶ

4）「決定」ボタンを押す

- 「レンズメモリー名入力」が表示され、レンズメモリー名の入力または、レンズメモリー名の変更をします。

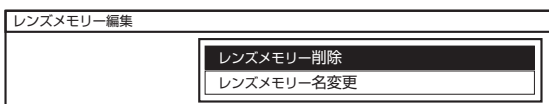
5）▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力する（最大 16 文字まで入力できます。）

- 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「標準」を押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している１文字を削除できます。

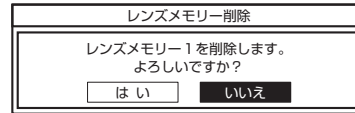
6）▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ：
- レンズメモリー名が空のままで保存するとデフォルト名（レンズメモリー１～３）が登録されます。
- このレンズメモリー機能は調整の再現を 100%保証するものではありません。
- 「レンズメモリー保存」を実行中に電源が切れた場合、電源再起動後は、電源が切れる前の状態と異なっている場合があります。再度ズーム、フォーカスの調整を行ってください。

レンズメモリー編集

「決定」ボタンを押すと、「レンズメモリー編集」メニューが表示されます。レンズメモリーの削除やレンズメモリー名の変更ができます。

■レンズメモリー削除

1）▲▼ ボタンで削除するレンズメモリー名を選ぶ

2）「決定」ボタンを押す

3）◀▶ ボタンで「はい」を選ぶ

4）「決定」ボタンを押す

レンズメモリー全削除	▲▼ ボタンで「レンズメモリー全削除」を選択し、「決定」ボタンを押すと確認メッセージ「全てのレンズメモリーを削除します。」の画面が表示されます。◀▶ ボタンで「はい」を選択し、「決定」ボタンを押すと、レンズメモリーが全て削除されます。

■レンズメモリー名変更

1）▲▼ ボタンで変更するレンズメモリー名を選ぶ

2）「決定」ボタンを押す

3）▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力する（最大 16 文字まで入力できます。）

- 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「標準」を押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している１文字を削除できます。

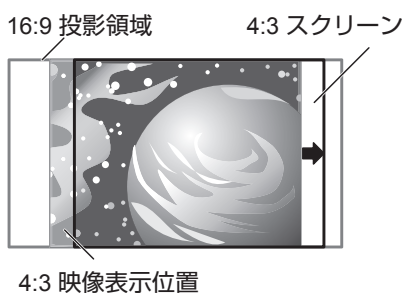
4）▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す

- 中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

お知らせ：
- レンズメモリー名が空のままで「確定」すると、デフォルト名（メモリー１～３）が登録されます。

水平映像位置

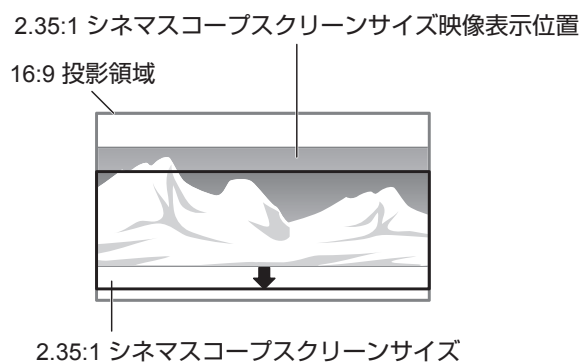
映像領域の水平位置を左右に調整します。

例えば、４：３のスクリーンに対して 16：９の投写領域をオーバースキャン投影して４：３の映像を表示する場合に、スクリーン位置と映像表示位置との水平方向のズレを調整することができます。

お知らせ：

● 水平映像位置の調整値は、ズーム / フォーカスの調整位置と共にレンズメモリーに保存することができます。

垂直映像位置

映像領域の垂直位置を上下に調整します。

例えば、2.35：１のシネマスコープスクリーンサイズに対して、16：９の投影領域をオーバースキャン投影して 2.35：１のシネマスコープスクリーンサイズ映像を表示させる場合に、スクリーン位置と映像表示位置との垂直方向のズレを調整することができます。

お知らせ：

● 垂直映像位置の調整値は、ズーム / フォーカスの調整位置と共にレンズメモリーに保存することができます。

「ファンクションボタン」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞29 ページ）のメインメニューから「ファンクションボタン」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

リモコン

本体操作部

ファンクションボタン

「決定」ボタンを押すと、現在設定されている操作が表示され、さらにもう一度「決定」ボタンを押すと「ファンクションボタン」メニューが表示されます。ファンクションボタンに、よく使う操作を割り当てることで、ショートカットボタンとして使用します。

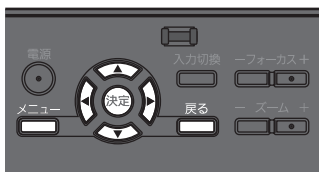
1）「決定」ボタンを押す

2）▲▼◀▶ ボタンでファンクションボタンに設定したい項目を選ぶ

項目	内容
HDMI 1 入力	入力を HDMI 入力に切り換える
HDMI 2 入力	
HDMI 3 入力	
コンピューター入力	入力をコンピューター入力に切り換える
コンポーネント 1 入力	入力をコンポーネント入力に切り換える
コンポーネント 2 入力	
S 映像入力	入力を S 映像入力に切り換える
映像入力	入力を映像入力に切り換える
ブランク	映像を一時的に消す ● 一定時間だけ、本機を使用しない場合、ブランク機能を動作させると映像が消え、消費電力を少なくすることができます。 ● リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば、ブランク機能は解除され、映像が投写されます。
自動位置補正	自動位置補正を開始（☞41 ページ）
ピクチャー	色の明暗度を調整する（☞32 ページ）
コントラスト R	主に白色を中心とした色温度を調整する（☞35 ページ）
コントラスト G	
コントラスト B	
ノーマル	一般的な映像（スポーツ、ゲームなど）をご覧になる場合
ダイナミック	より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合
カラー 1	HDTV 規格 (ITU-R BT.709) の色温度 6500 K に対応した映像モード（但し、映像メニューの各種設定値が初期設定値の場合）
カラー 2	DCDM 規格 (SMPTE431-2) の色温度 6300 K に対応した映像モード（但し、映像メニューの各種設定値が初期設定値の場合）
シネマ 1	米国ハリウッドのトップカラーリストとつくりこんだモード 映画をしっとりとした画質でご覧になる場合
シネマ 2	映画を深みのある画質でご覧になる場合
シネマ 3	アクション映画やアニメなど、あざやかな映画をくっきりした画質でご覧になる場合
2 画面調整	2 画面表示で映像を調整する（☞34 ページ）
波形自動調整	信号レベルを自動的に調整する（☞33 ページ）
レンズメモリー呼出	「レンズメモリー呼出」メニューを表示します（☞42 ページ）
黒レベル	主に黒色を調整する（☞32 ページ）
ブライト R	主に黒色を中心とした色温度を調整する（☞35 ページ）
ブライト G	
ブライト B	

「その他の設定」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」（☞29 ページ）のメインメニューから「その他の設定」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定の切り換えを行ってください。

リモコン　　本体操作部

入力ガイド

現在選択している入力端子名の表示方法を設定します。「入力切換」ボタンを押したとき、画面右上に表示します。（☞28 ページ）

詳細表示	入力端子をグラフィック表示
オフ	入力ガイド無効
簡易表示	入力端子名のみ表示

OSD デザイン

オンスクリーンメニューの背景を設定します。

タイプ 1	背景を半透明の黒色で表示
タイプ 2	背景を青色で表示
タイプ 3	背景を半透明の紺色で表示

OSD ポジション

オンスクリーンメニューの表示位置を設定します。

中央	投写画面の中央に表示
左下	投写画面の左下に表示
中央下	投写画面の中央下に表示
右下	投写画面の右下に表示
左上	投写画面の左上に表示
中央上	投写画面の中央上に表示
右上	投写画面の右上に表示

バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示

スタートアップロゴ

電源を入れたときに「Panasonic」ロゴを表示するかを設定します。

オン	スタートアップロゴ有効
オフ	スタートアップロゴ無効

お知らせ :
- 約 15 秒間表示されます。

自動入力サーチ

電源を入れたときに、信号が入力されている端子を自動的にサーチし、投写する設定をします。

オン	自動入力サーチ有効
オフ	自動入力サーチ無効

お願い :
- 通常は「オン」に設定してください。

HDMI 信号レベル

本機と外部機器を HDMI で接続し、正常な映像が映らない場合は設定を切り換えてください。

通常	一般的な外部機器が使用する信号レベル
拡張	一部の外部機器が使用する拡張された信号レベル

お知らせ :
- 一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

フレームレスポンス

プログレッシブ信号入力時に、信号の入力から映像が画面に表示されるまでの時間のズレを抑えたい場合、設定を切り換えてください。

通常	画質を優先する場合
高速	時間のズレを抑制する場合

お知らせ :
- 「通常」選択時の方が、高画質で映像がご覧いただけます。

設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。
（☞15 ページ）

フロント / 床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント / 天つり	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
リア / 床置き	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
リア / 天つり	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

オフタイマー

自動的に本機の電源を切る時間を設定します。

オフ	オフタイマー無効
60 分	60 分後に電源を切る
90 分	90 分後に電源を切る
120 分	120 分後に電源を切る
150 分	150 分後に電源を切る
180 分	180 分後に電源を切る
210 分	210 分後に電源を切る
240 分	240 分後に電源を切る

お知らせ :
- 設定した時間が過ぎると自動的に電源オフ状態（「電源モニター」が赤色に点灯）になります。
- 設定した時間が残り 3 分になると、画面の右下に表示が出ます。
- 設定した時間になる前に「オフタイマー」を「オフ」に設定すると、設定が取り消されます。

高地モード

内部の冷却ファンの回転速度を設定します。

オフ	通常の環境で使用する場合
オン	高地で使用する場合

お願い :
- 海抜 1 400 m 以上の場所でご使用の場合のみ、「オン」に設定してください。

お知らせ :
- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、音が大きくなります。

ランプパワー

ランプの明るさを設定します。

ノーマル	ランプを明るくする
エコモード	ランプの明るさを抑える

お知らせ :
- 「エコモード」に設定すると輝度が下がり、電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。外光が遮断され、照明の映り込みがない環境でご覧になる場合は「エコモード」に設定されることをお勧めします。
- 信号が入力されていない場合は、設定できません。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を表示します。

お願い :
- ランプを交換する場合は、「ランプユニットの交換手順」（☞51 ページ）にしたがって交換し、ランプ使用時間を「0」にリセットしてください。

お知らせ :
- ランプの使用時間が 1 800 時間（「ランプパワー」を「ノーマル」に設定時）に達すると、赤色とグレーで交互に表示し交換時期をお知らせします。
- ランプユニットの交換時期を確認してください。（☞50 ページ）
- ランプの寿命は使用条件（「ランプパワー」の設定や電源の「入」「切」の回数など）により変わります。

温度モニター、ランプモニター

モニターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、温度とランプのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。
モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い :

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。（☞21 ページ）

お知らせ :

- 電源の状態は「電源モニター」で確認してください。（☞20 ページ）

■温度モニター

点灯状況	● 投写中に赤色点灯 （『取扱説明書の「温度モニター」をご覧ください。』とスクリーンに表示します。） ● 電源オフの状態で赤色点滅（自動的に投写を中止）			
状態	周囲または内部が異常に高温になっている。			
お調べください	吸気孔または排気孔がふさがれていませんか。	気温の高いところで使用していませんか。	エアーフィルターが目づまりしていませんか。	海抜 1 400 m 以上の場所で使用していませんか。
処置方法	吸気孔または排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。	仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。 （☞59 ページ）	エアーフィルターの掃除・交換を行ってください。 （☞49 ページ）	電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。2 分以内に「高地モード」を「オン」にしてください。 （☞47 ページ）

お知らせ :

- 上記の処置をしても「温度モニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■ランプモニター

点灯状況	● 赤色点灯	● 赤色点滅	
状態	ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が 1 800 時間（ランプパワーを「ノーマル」に設定時）に達すると点灯します。	ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常または、ランプの破損などを検知しています。	
お調べください	電源を入れたときに、ランプの交換を促すオンスクリーン表示がされていませんか。	電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。	ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常または、ランプの破損などが発生しています。
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。 （☞50 ページ）	光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。	「電源を切る」 （☞21 ページ）の手順で主電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ :

- 上記の処置をしても「ランプモニター」が点灯や点滅をする場合は、販売店に修理をご相談ください。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

お願い：
- お手入れ / 部品交換を行う際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。（☞19、21 ページ）
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。（☞21 ページ）

お手入れ

■外装ケース

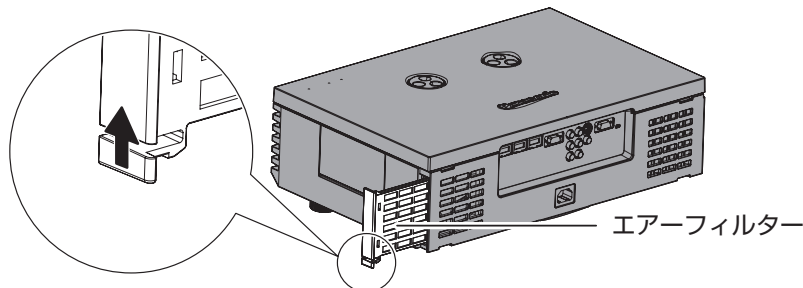
汚れやほこりは柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際に、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用されると外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。

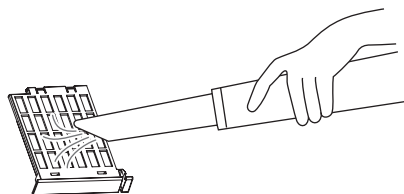
■レンズ

レンズにゴミやほこりが付着すると、スクリーンにゴミやほこりが拡大されて映ります。
柔らかいきれいな布でふいてください。
- レンズ面はほこりのついた布でふかないでください。

■エアーフィルター

エアーフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機の内部温度を正常な状態に保てなくなり、「温度モニター」が点滅し、電源が切れます。掃除は約 100 時間を目安に行ってください。

1) エアーフィルターを取り外す
- エアーフィルターの矢印部分を少し持ち上げた状態で、本機からゆっくりと引き抜いてください。

2) エアーフィルターを掃除する
- 掃除機でほこりを吸い取ってください。

3) エアーフィルターを取り付ける

お願い：
- エアーフィルターは必ず取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

部品交換

■エアーフィルター

掃除をしてもほこりがとれなくなったら交換時期です。
交換用のエアーフィルター (TXFKN01VKF5) は別売り部品です。（サービス部品扱い）
ご購入の際は販売店にご相談ください。
また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアーフィルターも交換してください。
（交換用のランプユニット［ET-LAE1000］には、エアーフィルターが付属しています。）

■ランプユニット

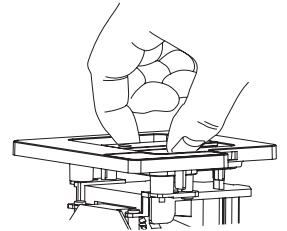
ランプユニットは消耗部品です。使用時間を確認し、定期的な交換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

警告

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待って）行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または、販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で作業をしたり、顔を近づけたりしないで、ランプを上に向けた状態で水平におろして交換してください。

お知らせ：

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
  ランプユニット品番：ET-LAE1000（サービス部品扱い）
- 上記のランプ以外は使用しないでください。
- 交換用のランプユニット［ET-LAE1000］には、エアーフィルターが付属しています。

■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。2 000 時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、ランプは自動的に消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
	ランプ交換	ランプ
1 800 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000 時間以降	いずれかのボタンを押さない限り、表示は消えません。	

お知らせ：

- この説明で記載している使用時間は、「その他の設定」メニューの「ランプパワー」を「ノーマル」（☞47 ページ）に設定した場合の時間です。
- 「ランプパワー」を「エコモード」に設定すると、明るさは低下しますが、長くランプを使用することができます。
- 2 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、保証書や「保証とアフターサービス」をご覧ください。（☞60 ページ）

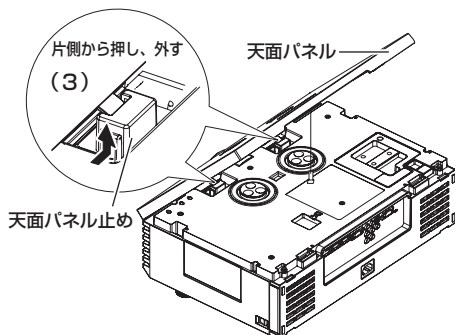
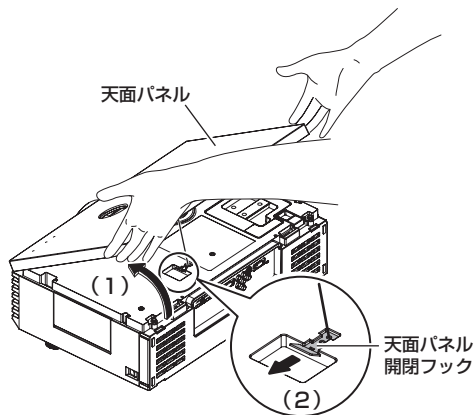
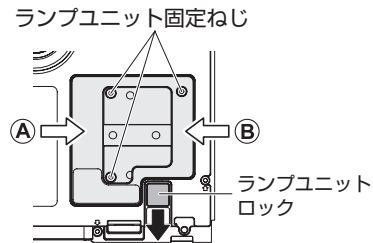
■ランプユニットの交換手順

お願い：
- ランプユニットの使用時間が 2 000 時間 (ランプパワー「ノーマル」設定時) を超えた場合は、電源を入れてから約 10 分間のみ本機を作動させることができます。
手順 ⑧ ～ ⑪ の操作を 10 分以内に行ってください。
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの真下で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が作動し電源が入りません。
- 天面パネルを外した状態で本機を使用しないでください。

① 「電源を切る」（☞21 ページ）の手順を守り、主電源スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する

② (1) 本体天面パネルの左右後側の隅を持ち、天面パネルを開く
※天井に取り付けている場合は、本体端子側に立って、天面パネルの開閉を行ってください

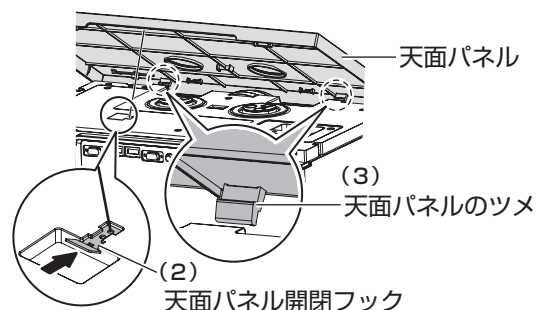
(2) 天面パネル開閉フックを外す

(3) 天面パネルを開けた状態で、天面パネル止め (2ヵ所）を外し、天面パネルを取り外します
※天井に取り付けている場合は、天面パネル止めを取り外す必要はありません

③ ランプユニット固定ねじ (3 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ランプユニットロックを黒矢印の方向にずらした状態で、ゆっくりと本体から引き出す

④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじ（3本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける
挿入時、特にⒶ部とⒷ部をよく押し込んでください。

⑤ (1) 天面パネル止め (2ヵ所）をカチッと音がするまで押し込む
※天面パネル止めを取り外していない場合は、必要ありません

(2) 天面パネル開閉フックを取り付ける

(3) 天面パネルのツメ (2ヵ所）を本体前面に引っ掛ける

(4) 天面パネルを閉める（手順は ② の逆）

⑥ **電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源スイッチを入れる**

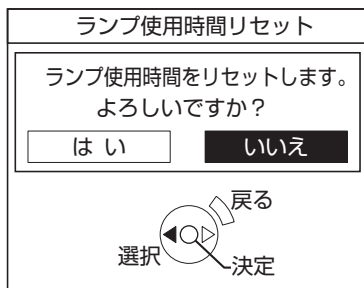
⑦ **電源ボタンを押し、映像投写を開始する**

⑧ **「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示させ ▲▼ ボタンで「その他の設定」を選択する**

⑨ **「決定」ボタンを押し、▲▼ ボタンで「ランプ使用時間」の項目を選択する**

項目	設定
入力ガイド	詳細表示
OSD デザイン	タイプ1
OSD ポジション	中央
バックカラー	ブルー
スタートアップロゴ	オン
自動入力サーチ	オン
HDMI信号レベル	通常
フレームレスポンス	通常
設置方法	フロント/床置き
オフタイマー	オフ
高地モード	オフ
ランプパワー	ノーマル
ランプ使用時間	2001時間

⑩ **「決定」ボタンを約 3 秒間押し続ける**

「ランプ使用時間リセット」画面が表示されます。

⑪ **◀▶ ボタンで「はい」を選び、「決定」ボタンを押す**

ランプ使用時間が「0」にリセットされ、電源オフ状態（スタンバイ）になります。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。
詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 主電源スイッチを「OFF」にしていませんか。 ● コンセントに電源がきていますか。 ● ブレーカーが落ちていませんか。 ●「温度モニター」または「ランプモニター」が点灯または点滅していませんか。 ● ランプユニットは確実に取り付けられていますか。	19 21 19 ー 48 51
映像がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。 ● 入力切換は正しく設定されていますか。 ● 黒レベル調整が最小になっていませんか。 ● 本機に接続している外部機器は正常に動作していますか。 ● ブランク機能を使用していませんか。 ● レンズカバーがかぶさったままではありませんか。	18 28 32 ー 45、57 21
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。 ● 投写距離は適切ですか。 ● レンズが汚れていませんか。 ● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	22 14 49 14
色が薄い／色あいが悪い	●「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 ● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	32 ー
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。 ● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。 ● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。 ● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。 ● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	ー 11 11 59 11
正常な映像が映らない	● カラー方式の選択は正しく行われていますか。 ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	36 ー 55
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長すぎませんか。（10 m 以下にしてください。） ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。 （例：「Fn」＋「F3」あるいは「Fn」＋「F10」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。）	ー ー

※上記内容を確認された後、正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。（☞60 ページ）

天つり金具取り付け時の注意事項

本機に天つり金具を使用して取り付ける場合は、付属のワイヤーロープを本機の底面に取り付け、ご使用いただきますようにお願いします。

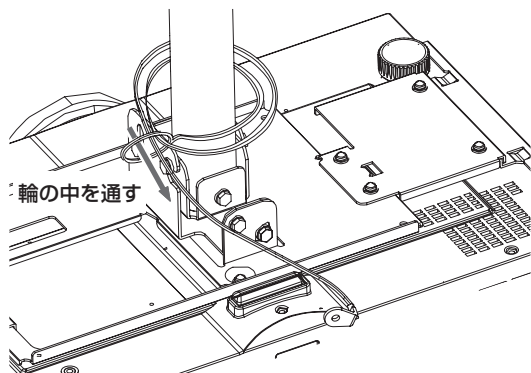
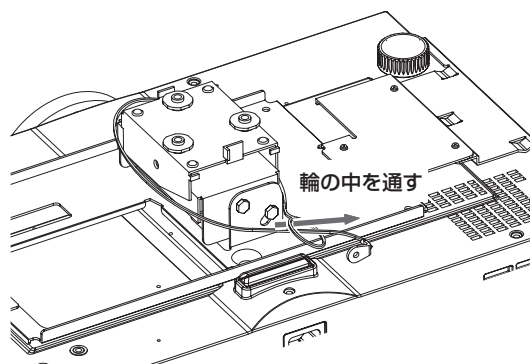
お知らせ :
- 安全性に問題はありませんが、万一ねじが緩んだ場合など、不慮の事故を防止するためです。

取り付け時の留意点

■工事は下記の工事手順に従い、工事の専門技術者にご依頼ください
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

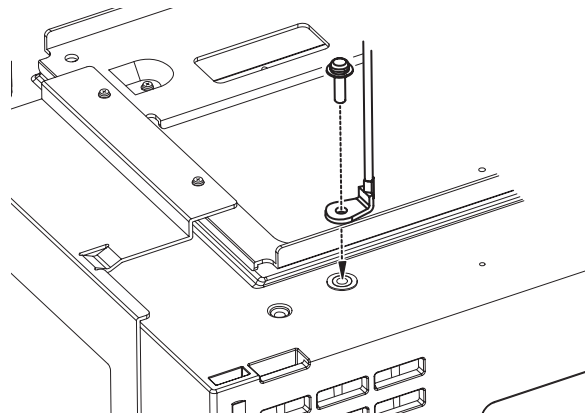
■取り付け手順

1）天つり金具の工事説明書に従い、本機に天つり金具を取り付ける

2）本機に付属の「ワイヤーロープ」の先端を下図のように引き回し、天つり金具に巻きつけます（出来るだけたわみを少なくしてください。）

上図は天つり金具
TY-PKE2000（高天井用）
の使用例

上図は天つり金具
TY-PKE1000S（低天井用）
の使用例

3）ワイヤーロープ先端の金具を付属の取り付けねじで固定します

- ねじの締めつけトルク：1.25 ± 0.2 N・m

付録

対応信号リスト

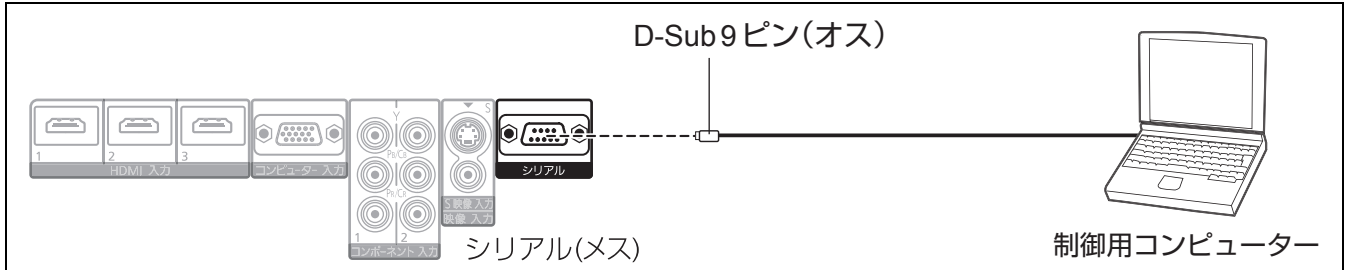
本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

対応信号	表示モード	解像度（ドット）*1	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	画質 *2	フォーマット
			水平（kHz）	垂直（Hz）			
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	–	720 x 480i	15.7	59.9		A	映像 /S 映像
PAL/PAL-N/SECAM	–	720 x 576i	15.6	50.0		A	
525i (480i)	525i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	コンポーネント
625i (576i)	625i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	
525p (480p)	525p	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	コンポーネント /HDMI
625p (576p)	625p	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	
1 125 (1 080)/60i	1 125/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	AA	コンポーネント / コンピューター /HDMI
1 125 (1 080)/50i	1 125/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	AA	
1 125 (1 080)/24p	1 125/24p	1 920 x 1 080	27.0	24.0	74.3	AA	コンポーネント /HDMI
1 125 (1 080)/60p	1 125/60p	1 920 x 1 080	67.5	60.0	148.5	AA	コンポーネント / コンピューター /HDMI
1 125 (1 080)/50p	1 125/50p	1 920 x 1 080	56.3	50.0	148.5	AA	
750 (720)/60p	750/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	AA	コンポーネント /HDMI
750 (720)/50p	750/50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	AA	
VGA480	VGA60	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	コンピューター
	VGA75	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	
	VGA85	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	
	VGA138	640 x 480	72.1	138.0	62.3	A	
SVGA	SVGA55	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	
	SVGA60	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	
	SVGA70	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	
	SVGA75	800 x 600	46.9	75.0	49.5	A	
	SVGA85	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A	
WIDE720	WIDE720	1 280 x 720	45.1	60.1	76.5	AA	
XGA	XGA60	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	A	
	XGA70	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	A	
	XGA75	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	A	
	XGA85	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	A	
	XGA89	1 024 x 768	72.1	89.0	99.2	A	
WIDE768	WIDE768	1 280 x 768	45.3	56.5	76.2	A	
MXGA	MXGA70	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A	
	MXGA75	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	A	
SXGA	SXGA60	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	A	
SXGA60+	SXGA60+	1 400 x 1 050	65.1	59.9	122.4	A	
WIDE768-2	WIDE768-2	1 360 x 768	48.8	59.8	74.3	A	
WIDE800	WIDE800	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	A	
WIDE900	WIDE900	1 440 x 900	55.9	59.8	106.5	A	
WIDE1 080/60	WIDE1 080/60	1 920 x 1 080	66.5	59.9	138.5	AA	
WIDE1 080/50	WIDE1 080/50	1 920 x 1 080	55.6	49.9	141.5	AA	

*1 解像度の後ろの “i” は、インターレース信号を示しています。
*2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA：最高の画質で投写できます。
A ：画像処理回路で変換を行い投写しています。

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■接続

■ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン（外側から見た図）	ピン NO.	信号名	内容
⑥→⑨ / ①→⑤	①	―	NC（何も接続されていません）
	②	TXD	送信データ
	③	RXD	受信データ
	④	―	NC（何も接続されていません）
	⑤	GND	グラウンド
	⑥	―	NC（何も接続されていません）
	⑦	RTS	内部で接続されています
	⑧	CTS	
	⑨	―	NC（何も接続されていません）

■通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。
パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

お願い：
- ランプ点灯開始後、約 10 秒間はコマンドを受信できません。必ず 10 秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

お知らせ：
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがコンピューター側に送信されます。

■ケーブル仕様

＜コンピューターと接続する場合＞

コンピューター側
(DTE 仕様)

その他

■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

<操作コマンド>

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ● ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 85 秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
IIS	入力信号 切り換え	パラメーター CP1 = コンポーネント入力 1　CP2 = コンポーネント入力 2　SVD = S 映像入力 VID = 映像入力　HD1 = HDMI 1 入力　HD2 = HDMI 2 入力　HD3 = HDMI 3 入力 RG1 = コンピューター入力
OMN	メニュー画面表示	メニュー画面を表示します。
OEN	決定	オンスクリーンメニューの項目を実行します。
OBK	戻る	メニュー画面が表示されているときに、前の画面に戻したり、メニュー画面を消せます。
OCU OCD OCL OCR	▲▼◀▶ ボタン	OCU = ▲　OCD = ▼ OCL = ◀　OCR = ▶
OLE	レンズコントロール画面の表示	（終了させる時は、「戻る」か「メニュー」）
OST	標準ボタン	調整値を工場出荷状態に戻します。（☞29 ページ）
OFZ	静止機能	映像を一時静止させます。（☞23 ページ） パラメーター　0 = OFF　1 = ON
FC1	ファンクション	リモコンのファンクションボタンと同機能です
OSH	ブランク機能	映像を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに ON ／ OFF が切り換わります。（☞45 ページ） 短時間での ON ／ OFF の切り換えは行わないでください。
OVM	映像メニュー 切り換え	映像メニューを切り換えます。コマンドを送信するごとに映像メニューが切り換わります。（☞32 ページ）
OWM	波形モニターの 表示・終了	パラメーター 0 = OFF　1 = 全ライン表示 (Y)　2 = 全ライン表示 (R)　3 = 全ライン表示 (G) 4 = 全ライン表示 (B)　5 = ライン選択 (Y)　6 = ライン選択 (R)　7 = ライン選択 (G) 8 = ライン選択 (B)
VS1	アスペクト比 切り換え	アスペクト比を切り換えます。コマンドを送信するごとにアスペクト比が切り換わります。（☞28 ページ）
VPM	映像メニュー設定	映像メニューを設定します。（☞32 ページ） パラメーター NOR = ノーマル　DYN = ダイナミック　CL1 = カラー 1　CL2 = カラー 2 CN1 = シネマ 1　CN2 = シネマ 2　CN3 = シネマ 3
OOT	オフタイマー機能	自動的に電源を切る時間を設定します。（☞47 ページ） 0 = OFF　1 = 60 分　2 = 90 分　3 = 120 分　4 = 150 分　5 = 180 分 6 = 210 分　7 = 240 分

<状態問い合わせコマンド>

コマンド	内容	コールバックパラメーターとその内容
QPW	電源の状態	000 = OFF　001 = ON
QIN	入力信号の状態	CP1 = コンポーネント入力 1　CP2 = コンポーネント入力 2　SVD = S 映像入力 VID = 映像入力　HD1 = HDMI 1 入力　HD2 = HDMI 2 入力　HD3 = HDMI 3 入力 RG1 = コンピューター入力
QPM	映像メニューの状態	NOR = ノーマル　DYN = ダイナミック　CL1 = カラー 1　CL2 =カラー 2 CN1 = シネマ 1　CN2 = シネマ 2　CN3 = シネマ 3（☞32 ページ）
QSH	ブランク機能の 状態	0 = OFF　1 = ON　（☞45 ページ）
QFZ	静止機能の状態	0 = OFF　1 = ON　（☞23 ページ）
QOT	オフタイマー機能の 状態	0 = OFF　1 = 60 分　2 = 90 分　3 = 120 分　4 = 150 分　5 = 180 分 6 = 210 分　7 = 240 分（☞47 ページ）
QWM	波形モニター表示の 状態	パラメーター 0 = OFF　1 = 全ライン表示 (Y)　2 = 全ライン表示 (R)　3 = 全ライン表示 (G) 4 = 全ライン表示 (B)　5 = ライン選択 (Y)　6 = ライン選択 (R)　7 = ライン選択 (G) 8 = ライン選択 (B)

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

使用電源		AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力		240 W（スタンバイ時約 0.08 W）
液晶パネル	パネルサイズ	0.74 型（アスペクト比 16：9）
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	2 073 600 画素（1 920 × 1 080 ドット）× 3 枚
レンズ		電動ズーム（2 倍）· フォーカス F 1.9 ～ 3.2、f 22.4 mm ～ 44.8 mm
光源ランプ		165 W UHM ランプ
光出力		1 600 lm
※ 1 対応走査周波数 （RGB 信号時）	水平走査周波数	30 kHz ～ 70 kHz
	垂直走査周波数	50 Hz ～ 87 Hz
	ドットクロック 周波数	150 MHz 未満
コンポーネント（Y$P_B$$P_R$）信号		525i (480i)、525p (480p)、625i (576i)、625p (576p)、 750 (720)/60p、750 (720)/50p、1 125 (1 080)/60i、 1 125 (1 080)/50i、1 125(1 080)/24p、1 125 (1 080)/60p、 1 125 (1 080)/50p
カラー方式		7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM）
スクリーンサイズ		40 型～ 200 型
投写距離		1.2 m ～ 12 m
画面アスペクト比		16：9
投写方式		フロント / 床置き、フロント / 天つり、リア / 床置き、リア / 天つり （メニュー設定方式）
接続端子	ビデオ入力端子	● S 映像 : 1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω ● 映像 : 1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	コンピューター 入力端子	RGB 1 系統高密度 D-sub 15p（メス） ● R、G、B: 0.7 V [p-p] 75 Ω ● G · SYNC : 1.0 V [p-p] 75 Ω ● HD/SYNC: TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応 ● VD: TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応
	コンポーネント 映像入力端子	Y、P_B/C_B、P_R/C_R 2 系統 RCA ピンジャック× 3 ● Y : 1.0 V [p-p]（同期信号を含む）75 Ω ● P_B/C_B、P_R/C_R : 0.7 V [p-p] 75 Ω
	HDMI 入力端子	3 系統 HDMI 19 ピン（HDCP 対応）
	シリアル端子	D-Sub 9 ピン RS-232C 準拠（コンピューター制御用）
電源コードの長さ		3.0 m
外装ケース		樹脂成型品（PC+ABS）
外形寸法		● 横幅 460 mm ● 高さ 130 mm（突起部は除く） ● 奥行 300 mm（レンズは除く）
質量		約 7.3 kg（※ 2）

※ 1：本機が投写できる映像信号について詳しくは「対応信号リスト」をご覧ください。（☞55 ページ）
※ 2：平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

使用環境条件		● 使用周囲温度　0 ℃～ 40 ℃（ただし、「高地モード」(☞47 ページ)を「オン」に設定している場合は、0 ℃～ 35 ℃） ● 使用周囲湿度　20 %～ 80 %（結露のないこと）
＜リモコン＞	使用電源	DC 3 V（単 3 形乾電池 2 個）
	操作距離	約 7 m（受信部正面）
	質量	約 125 g（乾電池含む）
	外形寸法	● 横幅　48 mm ● 高さ　138 mm ● 厚さ　28.35 mm（突起部は除く）
＜オプション＞	ケーブルカバー	TY-PCE2000
	天つり金具	TY-PKE2000（高天井用）、TY-PKE1000S（低天井用）

● この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄する場合は日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間： お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6ヵ月または 600 時間の早い方。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「修理を依頼される前に」（☞53 ページ）や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。ただし、1 年未満でも長時間使用による液晶パネルや偏光板などの光学部品の消耗劣化交換は、有料になる場合があります。
- 保証期間を過ぎているときは
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記の修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	「モニターランプ」点灯状況を含め、詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

用語について

取扱説明書内の用語について説明します。

DCDM	Digital Cinema Initiative Distribution Master の略。
DVI	Digital Visual Interface の略。 プロジェクターと外部機器をデジタル信号で直接つなぐインターフェース規格。 RGB 信号や YPBPR（YCBCR）信号をデジタル信号のまま送るため、信号の劣化がなくなり画質が向上する。主にコンピューターとの接続に使用する。
HDMI	High Definition Multimedia Interface の略。 プロジェクターと外部機器をデジタル信号で直接つなぐインターフェース規格。 RGB 信号や YPBPR（YCBCR）信号をデジタル信号のまま送るため、信号の劣化がなくなり画質が向上する。 DVI を AV 家電向けに拡張したもの。
HDTV	High Definition Television の略。 従来方式のテレビの走査線（NTSC 525 本、PAL・SECAM 625 本）から、約２倍の 1125 本または 1250 本に増やして画質を向上させた次世代テレビ方式の総称。
IRE	映像信号において、輝度の基準となる信号レベルを 0 %、白レベルを 100 % としたときの、信号レベルのこと。
MPEG	Moving Picture Coding Experts Group の略。 デジタル動画を効率的に圧縮するための技術規格。 MPEG1、MPEG2、MPEG4 などがあり、コンピューターで閲覧できる映像ファイルや DVD-Video、デジタル放送などに利用されている。
NTSC	National TV Standards Committee の略。 日本や米国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。 （走査線 525 本、30 インターレースフレーム／秒）
PAL	Phase Alternating Line の略。 ヨーロッパや中国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。（走査線 625 本、25 インターレースフレーム／秒）
RGB	Red(赤)、Green(緑)、Blue(青) の光の 3 原色。プロジェクターや、モニター、カラーテレビなどでは、この 3 つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。
SECAM	Sequentiel Couleur avec Memoire（仏語）の略。 フランス、ロシア、東欧、中東、アフリカなどで利用されているビデオ・テレビの信号方式。（走査線 625 本、25 インターレースフレーム／秒）
WSS	Wide Screen Signalling の略。 映像信号に画面の縦横比（アスペクト比）の識別信号があれば自動的にアスペクト比を切り換える機能。通常、日本の放送電波では対応していません。
アクティブマトリクス方式	液晶パネルの駆動方式のひとつ。画素の 1 つ 1 つに対応するアクティブ素子を追加しているため、クリアで応答速度が速い。
オーバースキャン	テレビ画面などで入力された信号の外周部を切り落として表示すること。
カラーマネジメント	「映像メニュー」に対して、カーソルで調整したい色を選択し、お好みに合わせて調整・保存・呼び出しすることができる機能。
コンポーネントビデオ信号（YPBPR）	S ビデオ信号より、さらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Y は輝度、PB（CB）は青系、PR（CR）は赤系に分けて送る色差方式の信号。
シリアル端子	プロジェクターとコンピューターを接続して、コンピューターで制御することができるシリアル通信規格。ほとんどのコンピューターに標準で搭載されている。 本機は RS-232C（Recommended Standard 232 version C の略）に準拠。
台形ひずみ	スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると映像が台形の形にひずんで投写されること。
プロファイル	カラーマネジメントで調整した内容を記録したもの。

さくいん

外形寸法図

＜単位：mm＞

愛情点検　長年ご使用のプロジェクターの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像がでない。
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- 電源「入」時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため、19 ページの手順でコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	TH-AE3000
販 売 店 名	☎　（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎　（　　）　－		

パナソニック株式会社　**プロジェクタービジネスユニット**

〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号

S0808-1098B